

プロレタリア通信

60号

2014年
10月15日

発行人 共産主義者同盟プロレタリア通信編集委員会
発行所 豊島文化社 〒171-0021
東京都豊島区西池袋2-38-6 第一後藤ビル4F
TEL&FAX 03-3981-2887
郵便振替口座 00110-00173588
年間購読 送料費込 1000円 一部 200円

民衆の意向を無視する安倍政権打倒!

原発再稼働阻止!

北村 裕

集団的自衛権の閣議決定を許さず、日本を戦争のできる国家へと突き進む動きを糾弾!

治安弾圧立法制定阻止!

障害者、貧困者、民衆と共に、秋季闘争を闘いぬこう!

1 自滅の道を歩み続ける安倍政権

安倍自公連立政権は、2013年7月の参議院選挙において過半数を獲得し、「ねじれ現象」を解消し、極右の道をひたすら突き進んでいる。TPP交渉への参加、原発再稼働へと軌道修正を行い、12月には「安全保障会議を、「国家安全保障会議」と再編し、「特定秘密保護法」を強行採決の上成立させたのをはじ

めとして、靖国神社への参拝を強行し、中国、韓国との軋轢を強くした。その後、今年になって法人の陸上輸送を可能にする自衛隊法の改悪、武器輸出3原則の見直しを初め、7月1日には、集団的自衛権の行使容認の閣議決定の暴挙を行っている。安倍は今後、年内に予定されている日米防衛協力指針(日米ガイドライン)の改定や、来年通常国会での自衛隊法・武力攻撃事態法・国民保護法・周辺事律の改悪を準備している。そのため、9月に行われた内閣改造で、「安全保障法制担当大臣」のポストの新設を行った。

米軍との軍事同盟の強化、自衛隊の海外派兵、武力行使など、戦争のできる国家体制へと邁進するこのような安倍の動きを、労働者民衆は決して容認できないと、首相官邸前や国会周辺においてばかりでなく、全国各地においても、地方議会での反対決議を含め、集会やデモが取り組まれ、抗議の意思を突きつけている。

さらに安倍は、原発再稼働をも進めようとしている。卑劣なことに国内よりも、外国に向けてそのことをアピールし、5月1日イギリスにおいて、経済成長には安定的で安いエネルギー供給の実現が不可欠とし、「世界のどこにも劣らないレベルの厳しい安全基準を満たした原発を慎重な手順を踏んで再稼働させると表明している。

原子力規制委員会は、7月16日九州電力管内の川内原発(鹿児島県薩摩) 1、2号機について、安全対策は「新規制基準を満たしている」として「審査書案」を公表した。そして、パブコメを募集したところ1万7819件の意見が寄せられたにもかかわらず、多くの反対の声を無視して、9月10日、川内原発の再稼働についての「適合審査が合格した」と全会一致で可決した。今後は運転や事故時の手順を定めた「保安規定」と、詳しい設計を記した「工事計画の審査が残っているが、再稼働は来年明けにも確実な状況になっている。これに対して、「ストップ川内原発再稼働! 9・28全国集会」が、全国から75000人を集めて開催され、再稼働を進める安倍や鹿児島県知事に、再稼働を許さない怒りの声をつき付けた。

2 拡大する生活の貧困

安倍は、経済政策において「アベノミックス」なる3本の柱を打ち立て、①「大胆な金融緩和」として、日銀に2%の物価上昇を目標に無制限の金融緩和を行わせ、②「機動的な財政政策」として、国債を増発し、公共事業拡大による国土強靱化として、200兆円もの緊急経済投資を行い、③「民間投資を喚起する成長戦略」として、企業に対する税制の優遇や規制緩和、構造改革を推進することをおちあわせている。そのため、生活保護給付は給付水準を原則1割削減して、社会保障費用を削減するなどを行った。

しかし、大胆な金融緩和や巨額の財政出動を行って株価上昇や円安はもたらされたが、この安倍の政策の失敗は明らかで、経済成長率は低迷し、労働者の貧困は一層加速されている。

それはすなわち「世界で一番企業が活動しやすい国」を目指して昨年12月成立した、地域を限定して規制緩和を進める「国家戦略特区法」や労働者派遣法の改悪など、労働者を緩和し労働者階級への攻撃を強めていることで、その中でも、憲法の理念に基づく生活保護法の改悪は、断じ

て許し難いものである。
 昨年の臨時国会において、12月6日の「生活保護法の改悪と、「生活困窮者支援法は成立し、「生活保護法の一部改定は今年の7月から、そして「生活困窮者自立支援法は、2015年4月より全面実施される予定である。この法案が目指すものは、生活保護費の抑制である。すでに昨年8月に保護費の引き下げは開始され、政府はさらに今後3年かけて、保護の基本部分である「生活扶助費」を平均6・5%、最大10%引き下げることを用意している。

社、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならぬ。このような当然の権利であるにもかかわらず、実際はこれまでも緊縮を余儀なくされ、差別が続けられているのである。我が国の生活保護の捕捉率は2割程度に抑えられ、諸外国―イギリス90%、フランス91・6%、ドイツ65%―と比して格段に低いという現状にある。今回の改悪はこれをさらに低下させることになるわけである。厚生労働省によると、2014年6月時点で生活保護を受けるとは、1604414世帯でこれまでよりさらに急増しており、働ける世代を含む「その他の世帯」は283371世帯と、これも

リーマン・ショックがあった2008年の約12万世帯から急増。この様な雇用環境の悪化は、中軽度の障害者、資格を持たない者、人間関係を苦手とする人たちから順に職を奪う傾向が強めている。まさに、ワーキングプアの拡大再生産に他ならない。

3 沖縄から東アジアに向けて

安倍は、集団的自衛権の閣議決定を行った同じ7月1日に、辺野古沖の臨時制限区域を50メートルから2000メートルに拡大して常時立ち入り禁止とすること及び、同区域を日本政府が共同使用することを決定した。そして、

8月18日、沖縄防衛局は、辺野古沖で海底ボーリング調査を開始した。当然激しい反対行動が行われているが、海上保安庁は連日海上での暴力的な妨害行為を行っている。
 この沖縄現地の闘いは、今や日米安保体制における反基地闘争の最前線での闘いとなっており、これを支える陣形を沖縄―本土を貫いて作り上げていかなければならない。併せて、今年4月台湾では、サービスマン協定を巡る大規模な立法院占拠闘争があり、今また香港において、2017年の行政長官選挙を巡ってオキュパイ運動が起こっているが、沖縄の問題も韓国、台湾、中国など東アジアの中での問題として捉え返

し、東アジアにおける民衆との連帯が深められていかなければならない。
 今日全世界において新自由主義・グローバルバムは、労働者民衆への犠牲の転嫁により、広範に持たざる者を生み出している。労働者民衆の闘いは、東アジアばかりではなく全世界において、国家権力や既成政党、代議制民主主義に頼ることのできない、資本主義を越える運動を創り出している。
 私たちは、2011年3・11東日本大震災・原発事故以降の世界的な激動が今も続く中で、共産主義運動を多くの仲間、友人たちと共に、より一層押し広げる活動を共に担っていくつもりである。

寄稿

ふくしまの有機交流バスツアーに参加して

橘 優子

9月13・14の2日間、二本松市のNPOゆうきの里東和ふるさとづくり協議会と福島県農業総合センター有機農業推進室主催の標記イベントに単身参加してきた。

東京駅からの往復バス代は、福島県が負担ということで無料、40人募集のところ、31人の参加、半数は若い女性、しかも福島県に行くのが初めてという方が5人、男

性も有機農業の研修中という青年たちや、就農志向の方など、多彩なメンバー。ホットスポットエリア・東和地区での畑での見学・体験、道の駅東和での地域の生

産者や、新潟大・福島大の農林水産関連の研究者たちを交えた交流会、宿泊先となる東和地区の農家民宿のご家族との交流会というのが1日目、2日目は郡山市総合地方卸売

市場で終日ふくしまオーガニックフェスタのボランティア、というスケジュールで、たんぼぼ舎などのツアーも顔負けの濃い内容。半ば敵陣に潜伏(?)的な

「福島」を忘れない！
 第二、第三の「福島」を許すな！
東電本店合同抗議

第14回：11月5日(水) 時間19:00～20:00
 第15回：12月3日(水) 時間19:00～20:00
 場所：東京電力本店前
 よびかけ：経産省前テントひろば 070-6473-1947
 たんぼぼ舎 03-3238-9035

10/20「東電は責任を取れ」連続講座第10回の案内
 主催(共催)たんぼぼ舎、経産省前テントひろば
朝日新聞バッシング・吉田調書の核心
東電が隠していること

日時：10月20日(月) 19時～21時(開場18:30)
 講師：木村結(きむらゆい)さん
 プロフィール：東電株主代表訴訟事務局長
 原発ゼロを実現する会・東京事務局長

緊張しての参加でしたが、たんぼ舎の週刊金曜ピラとアワプラの福島映像祭のピラを勝手にサービスマンで配布、交流会でも配りまくり。たんぼ舎のことなど知らない人が多く、きよとんとされて...

東和地区(福島第一原子力発電所から北西へ約50キロ)は村おこしへの取り組みが活発で、阿武隈山系に位置する棚田の山々からならかな安達太良山が望める、絵にかいたようなたたずまいの地域で、そこで高線量に抗いながら営農している人々のことを、まず知らなければという

思いで参加。浪江町の避難者が多く、町の役場が設置されている地区でもある。3・11後、毎年3人程度の新規就労者が移住してきていて、NPOが運営する道の駅も地域の就労の場として機能するほどの繁盛ぶりとのこと。

見学した畑の近くのモニタリングポストの17時頃の数値は0.36μSv/hとわが目を疑うほどの高さ、でも、マスクをしている人など皆無。バスの中で農作業にとゴムびきの軍手が配られたが、マスクや頭部を覆うもの、靴用のカバーなどは配布なし。ただ、以前のツアーの写真では、富岡町で見学の際にいた

ていた。

泊めていただいた農家では、乳幼児を含め、3人の可愛い子どもたちが迎えてくれて、胸が押しつぶされそうに思っている。地域の仲間と取り組んでいる「福島子ども保養プロジェクト@練馬」のリーフをお渡しして、今年大泉学園に開設された通年受け入れの保養ハウスの説明をしてきた。

翌朝、集合場所の道の駅の前のモニタリングポストの数値も0.36μSv/h! 「銀河のほとり」... 福島の女たち

オーガニックフェスタは、出店の中に、須賀川の「銀河のほとり」の名前があつて、有馬さんと久々に交流、彼女は相変わらず放射能へのデトックス対策を! と呼びかけ。他にも原発にいらぬ福島の人たちや被ばくの労働ネットの仲間とも会えてしばし立ち話。会場内にはステージが作られ、民謡や様々な音楽、ゆるぎやらショーも。

ステージのシンポジウムで「福島で営農していく覚悟」述べるきぼうのたねカンパニー株式会社社長 菅野瑞穂さんという、なでしこJAPANのように凛々しく日焼けし若い女性(東和の方)に「まず、福島の実態を知ろう

とツアーに参加したが、0.36μSv/hという数値に、いたたまれない思いが抑えきれません。

今年の5月に国立ひたち海浜公園では、0.23μSv/hという数値が出たというところで、立ち入り禁止になつていて、それよりさらに高い数値で生活、そして営農ということ自体が、やはり自分の中では危険としか思えない」という意見を述べ、それに応えようとして菅野さん、言葉に詰まつて、涙ぐんでしまった。彼女の隣にパネラーとして座つていた、左原真紀(NPOふくしま30年プロジェクト)さん、以前、都内保養4団体で開催のシンポに来ていただいて面識があつた方が、彼女を気遣いながら、福島で子育てする親の立場として、子どもの内部被ばくを阻止したい思いで県外産野菜を求めたりしてきたが、生産者と交流する中で、「福島産の農産物はすべて放射能検査をしていないものしか流通してないことを知り、近

東和町に通つて交流しながら調査している学者の話で

東和町有機農法と棚田

も、有機農法と棚田が功を奏しているようで、今年の水のベクレル値は昨年の10分の1以下、放射能が農作物に殆ど移行していないことも検査されていくとのこと。

シンポジウムの後で、菅野瑞穂さんと立ち話、江古田映画祭2016年3月予定での物販協力したい、福島子ども保養プロジェクト@練馬の通年保養ハウスもご利用を、とお伝え。とにかく、まずは、知り合うことから。

東和の畑では、放射能対策も深刻だが、一方でイノシシや猿による被害がひどくなつてきていて、畑の周囲に電線で囲いをしていて、除染した庭などに剥いだ土の代わりに敷いた山土からはスギナが繁殖、生態系が変わつていることも、東電・福島第一原子力発電所の事故の影響である。

東和町のNPOの代表の方は、歓迎会の挨拶で、「放射能災害」という言い方をしておられたが、「被害でしょ!」と言いたかつたのをぐつとこらえて次に繋げていきたい。

「福島子ども保養プロジェクト@練馬」という私共の保養のとりくみは、かつてチェルノブイリの子ども達の長期保養受け入れをした仲間の呼びかけで始めました。この仲間たちは共同保育の仲間たちでもありました。

2011年の夏、乳幼児妊婦さんを含め、4世帯ずつ一週間程度の受け入れを2度、80人近いボランティアで展開してきました。場所は埼玉県内の大きめの山荘を借りて毎年夏、皆で楽しく、子どもたちに寄り添い、寄り添える一夏です。

私どもは団塊前後の世代です。そこで、子どもたちの川あそびやプールでの水あそびは、私どもの子どもたちが中心に活動してくれそうです。こうして、人の輪は和とを継ぎ每回知り合いが増えてゆきます。練馬において、埼玉の山荘でそれぞれに地域で知り合いが増えてゆくのも、この活動の楽しみのひとつです。

とはいえ、外遊びもできず、夏でも白い肌の子供たちを迎える楽しみと、ふたたびホットスポットも含むであろう地域に帰郷する子供たちを思うと涙々、涙あるのみです。この子どもたちの5年10年後はどうなるのかと。すでに100余名の小児甲状腺障

害児を福島県も認めています。この子供たちから小児甲状腺がん発症者が生まれないことを祈るばかりです。このことを想うと夜も眠れなくなる程切なくなることもありま

わが、ふるさと二本松市東和町を橋優子さんが訪ねた。2012年2月岩代町、東和町を友人と訪ねたことを思い出した。東和町木幡のウツディーハウスに一泊し浪江まで、そして須賀川の「銀河のほとり」有馬さんにあいさつしたことなど、この橋優子さんの報告を読みながらなつかしくも、おおよその人々の顔、その風景がよみがえってきた。

橋さんありがとうございませす。(編集子)

11/30 (日) pm 2時 ~ テントにて 「テントを守れ川柳句会」 乱鬼龍選 入選者に呈賞 問:070-6472-1947 (乱)

第3回FAP総会 フクシマ・アクション・プロジェクト(FAP) 12月6日/福島県文化センター

日米群合同防災訓練反対

2014年 8・30米軍・自衛隊参加の「東京都・杉並区合同総合防災訓練」に反対する活動報告

北村 裕

毎年9月1日の防災の日に行われている東京都総合防災訓練は、今年は8月30日(土)に東京都は杉並区と合同で、防災訓練を実施した。訓練は、東京湾北部地震(マグニチュード7・3)が起きたと想定して、都、区、各防災機関との連携の強化及び自衛隊・消防・警察・消防・自衛隊の向上を図る訓練が実施された。このように「自衛隊・消防・警察」と「住民と防災機関との連携」がテーマとされている。主な会場としては、都立和田堀公園を主会場として、高円寺北地区会場、桃井原つば公園会場および晴海地区などで、重点は、木造住宅密集地域での火災発生など、地域の被害特性に対応した訓練(家屋倒壊を想定した救出救助訓練や、実際の街区を活用した地域住民による初期消火、

救出救助訓練、及び臨海部における救出救助活動拠点等の設置運営訓練などである。特徴としては、「自衛隊・消防・警察」と「住民と防災機関との連携」がテーマとして示されているように、住民は、国や自治体や自衛隊に頼ることなく自分たちでやれということに基本に、それ以上は防災機関(警察、消防、自衛隊)が連携するから、その指揮の下で行動しろということに意図したものと思われる。

また、今回もまた、小学生、中学生、高校生の動員である。これは最近の大きな特徴であるが、今回もまた、「防災」を名目に動員が教育委員会を通して行われた。さらに、杉並区では「中学生レスキュー隊」なるものが2005年8月に「災害や事故等いざというときに役立つよう心身を鍛え、救命救急技

術をはじめ災害時に役立つ知識、技能を身につけて、防災意識や社会貢献意識、自己有用感を高めること」を目的に区内の23校で作られたが、今回の訓練にも参加しており、また都立高校生も参加している。自衛隊、米軍は、今回も参加しており、派手なパフォーマンスは抑えられているものの、広報活動、炊き出しやヘリコプター、ジープなど用いて多数の隊員が参加し、米軍もまた、物資輸送を想定して、米海軍のヘリコプターが参加している。私たちは、これらの動きに對して今年もまた「米軍・自衛隊参加の東京都総合防災訓練に反対する実行委員会2014」を結成し、「防災」や「防災訓練」を利用した自衛隊の強化に反対し、東京都や杉並区への事前の申し入れ

スケジュール

- 午前の部 (10:00) 開演
 - DVD 上映・解説
 - 「辺野古・高江のたたかい」
 - 「横田基地もいらない! #2」
- 午後の部 (13:00) 開演
 - ①天 (SORA) の和太鼓演奏
 - ②メイントーク (対話形式)
 - 横田基地で進む日米軍事一体化
 - 航空自衛隊は基地の中で何をしています?
 - 話し手 内藤功さん (弁護士)
 - ③連続トーク 集会参加者の発言
 - ④特別発言
 - 砂川事件裁判の再審を実現させ、安保違憲の「伊達裁判」を蘇らせよう!
 - ⑤基調報告・決議
 - ⑥デモ行進

横田基地もいらない!
10.25 市民交流集会
沖縄とともに声を上げよう!

10月25日(土)
福生市民会館大ホール

入場無料

横田基地もいらない! 市民交流集会
 実行委員会 連絡先 080-8721-7177

国富の喪失とは何か 福井地裁判決要旨

佐藤 保

5月21日、「関西電力・大飯原発3・4号機は地震対策が不十分だ」などとして、福井県の住民らが運転差し止めを求めた訴訟で、福井地裁の樋口裁判長は「(住民)生命を守り生活を維持する人格権の根幹を具体的に侵害する恐れがある」として原発二基の運転を差し止める判決を言い渡した。

「内容に踏み込んで判断すべきだ」との意見が高まっており、二〇一二年一月に最高裁が全国の裁判官を集めて開いた研究会でも、こうした意見が出されたという。こういう雰囲気の中で、福島第一原発事故の実態を踏まえて出されたのが今回の福井地裁の判決である。樋口裁判長の勇氣ある判決に敬意を表したい。第二、第三の樋口裁判長の出現を願う。

この判決を仔細に読んでみると、住民目線に立った素晴らしい内容の判決であり、画期的な判決である。

かような危険を抽象的にではならぬ経済活動は……具体的危険性が万が一でもあれば、その差し止めが認められるのは当然である。

この判決は司法界においてひとつと強烈で青天の霹靂といっても過言ではないであろう。これまで原発関連訴訟は全て住民側が敗訴してきた。その理由は、裁判官自身、高級公務員であり、身分は保障されており、あえて国策に反する判決を出して最高裁から睨まれて左遷させられる(長沼ナイキ訴訟判決の福島裁判長が好例)より、国策裁判においては前例を踏襲し、原発

位に置かれるべきものである。……大きな自然災害や戦争以外で、根源的な権利が極めて広汎に奪われるという事態を招く可能性があるのは原子力発電所の事故の他は想定し難い。

この判決は司法界においてひとつと強烈で青天の霹靂といっても過言ではないであろう。これまで原発関連訴訟は全て住民側が敗訴してきた。その理由は、裁判官自身、高級公務員であり、身分は保障されており、あえて国策に反する判決を出して最高裁から睨まれて左遷させられる(長沼ナイキ訴訟判決の福島裁判長が好例)より、国策裁判においては前例を踏襲し、原発

位に置かれるべきものである。……大きな自然災害や戦争以外で、根源的な権利が極めて広汎に奪われるという事態を招く可能性があるのは原子力発電所の事故の他は想定し難い。

この判決は司法界においてひとつと強烈で青天の霹靂といっても過言ではないであろう。これまで原発関連訴訟は全て住民側が敗訴してきた。その理由は、裁判官自身、高級公務員であり、身分は保障されており、あえて国策に反する判決を出して最高裁から睨まれて左遷させられる(長沼ナイキ訴訟判決の福島裁判長が好例)より、国策裁判においては前例を踏襲し、原発

位に置かれるべきものである。……大きな自然災害や戦争以外で、根源的な権利が極めて広汎に奪われるという事態を招く可能性があるのは原子力発電所の事故の他は想定し難い。

この判決は司法界においてひとつと強烈で青天の霹靂といっても過言ではないであろう。これまで原発関連訴訟は全て住民側が敗訴してきた。その理由は、裁判官自身、高級公務員であり、身分は保障されており、あえて国策に反する判決を出して最高裁から睨まれて左遷させられる(長沼ナイキ訴訟判決の福島裁判長が好例)より、国策裁判においては前例を踏襲し、原発

位に置かれるべきものである。……大きな自然災害や戦争以外で、根源的な権利が極めて広汎に奪われるという事態を招く可能性があるのは原子力発電所の事故の他は想定し難い。

もう我慢はしない！立ち上がる
東電と国は被害者の声を聞け！
原発事故被害者集会
 日時：11/16 (日) 13:30 ~ 16:30
 会場：福島市公会堂
 ■被害者の証言
 ■ゲスト講演 きたがわてつさん(歌手)ほか
 呼びかけ団体
 原発被害糾弾 飯館村民救済申立団
 福島原発告訴団
 主催 原発事故被害者集会実行委員会
 ……………ぜひカンパをお願いします！……………
 ゆうちょ銀行(郵便局)から
 【記号】18280 【番号】5286801
 ヒガイシャシュウカイズッコウイインカイ
 ゆうちょ銀行以外の金融機関から
 【店名】八二八(ハチニハチ) 【店番】828
 【預金種目】普通 【口座番号】0528680
 被害者集会実行委員会

④ 大飯原発の地震の大きさについて。我が国の地震学会においてこのような規模の地震の発生を一度も予知できていないのは公知の事実。我が国において記録された(最近の)最大の地震は岩手・宮城内陸地震であり、同じく内陸地殻内地震である大飯原発の対策はこれと同じものにするべきである。↓これを採用すると大飯原発はこの地震に耐えられないので廃炉にするしかない。

⑤ 使用済み核燃料の危険性 福島事故の時、4号機の使用済み核燃料プールに納められた使用済み核燃料が危機的状況に陥り、この危険性ゆえに避難計画が検討されたが、その汚染範囲は最大250キロにも及ぶとされた。米帝国主義も使用済み核燃料プールがどうなっているか日本から情報が来ない為、いち早く自国民を遠くへ避難させたのであった。↓堅固な施設を設ける為には膨大な費用がかかるのでやりたくないというのであれば廃炉にするしかない。

⑥ 豊かな国土とそこに国民が根を下ろして生活している事が国富であり、これを取り戻す事ができなくなる事が国富の喪失である。

⑦ 原子力発電所でひとたび過酷事故が起こった場合の環境汚染はすさまじいものであって福島事故は我が国始まって以来、最大の公害、環境汚染である事に照らすと、環境問題を原子力発電所の運転継続の根拠とする事は甚だしい筋違いである。

書評 不破哲三「マルクス未来社会論」(下)

―不破哲三(日本共産党)の社会主義・共産主義論について―

旭凡太郎

5 (経済計算)

「労働者自主管理」という場合には、労働者による「経済計算」ということが含まれる。全社会的、ならびに企業

―工場内での諸労働の編成のなかでの、各部門・各人の支出労働の質、有用性、社会的

平均的労働支出等を点検・検証・支出するという活動である。

そうした活動の点検、フィードバックへの参加の問題として社会主義と「市場」という論議もある。

「社会主義と市場」という場合、ア 各企業採算制・分権による労働者の参加、経済計算とその検証の容易化という観点からの一因―工場批判

ということがある。同じく検証・点検を含んでの部分的競争の導入ということがある。それは国家・一党派の指揮命令・割り当て経済批判という

ことと結びついてきた。いずれも生産・労働の評価と価格変動とのフィードバック

ク、需要・購買先の決定、独立採算と収益、合理化の困難

性、の克服といったことがかかっている。

1 ソ連の場合「価格」は恣意(党・国家の決定)であつた(「労働量でもない」)

2 生産物の「需要」「販売先」は割り当て(党・国家による)であつた。

3 「企業収益」はほとんど税として吸収された。一部はボーナスとなつた。

4 こうしたなか労働者の参加・意欲といった面からも、「管理者」の自己保身―ノルマの低位申告等といった面からも、とりわけ1970年代以降経済は停滞した。

他方ネップにおいては「商業的原則の導入」(トロツキー)があつたし、レーニンもコミユーンごとの競争を否定してはいない。

・この場合「価格」は労働量を基準にすべきである。(前記のごとくソ連では恣意的に

設定された。(経済的刺激・誘因等に利用されてゆくという形で)。それぬぎには労働者自身の経済計算は不可能である。

・品質、生産性―支出労働量に依じた「価格」設定はありうるし、「収益」差もありうる。

労働者の自己労働・「企業」労働の点検への点検・監督への接近への回路となる。

・価格、販路、購買先の選択、変動はある範囲ではある、にしても「範囲」は決められ限定される。

・優良な生産性・ノウハウ等は独占されず拡散されるべきといえる。

そしてこうした全体が、生産者全国大会の判断・決定に従属する、「市場」はフィードバックのための指標の枠をこえることはない、といったことが核心である。

ユーゴスラビアの経験からしても企業自主管理は労働者全国自主管理に従属するので

ある。

・「企業」「工場」の管理・運営は、当該労働者はもちろん地域住民の参加による。(選挙等)

・労働者全国自主管理はこうした生産性・労働量から「販路」、生産手段・科学技術、固定された分業の止揚、といった全般にかかわる。

こうして経済計算、分権、市場、をめぐっては「革命路線」全体がからんでいる。が不破はこのネップ、採算制、「市場」をめぐる論議について、ここでは「共産主義者

もっている原理も理想も問題になりません。必要な物資の供給をはじめ、農民その他の経済的要求を的確にみとす能力があるか、すなわち、経営能力の点で、資本家に負けない能力があるかが点検されるのです。(不破著「レーニンと資本論」7 二〇〇〇年)

と語ることによって、労働

者自主管理とは「経営」をふくむのであるが、そうしたことは「お任せ」(党? 官僚?)「お任せ共産主義」という本音を露わしているのである。

そして不破はここで「労働日の短縮」なり生産力発展をこうした、労働者自主管理、労働者民主主義(固定化された分業の止揚をふくむ)の不可欠な構成要素、としてではなく、それらと代置されるものとして提起しているわけである。

先述の「マルクスはこうした見方(固定化された分業の止揚)を早い時期に捨てざりました」に続いて展開されるのは「労働時間の短縮」であつたり、「資本論」での生産力発展を含んでの意味である「自由の国は本来の物質的生産の彼岸にある」の引用であつたりする(p208)わけである。

こうした観点は一貫して「イギリスに比べて2分の1ないしは3分の1の生産力水準で「社会主義」達成宣言を発してしまつた。(p123)」等、生産力発展―自由―労働日短縮……といった観点からスターリン批判は展開される。

あるいはレーニンに対して

も(レーニンが「国家と革命」等で強調した)「記帳と統制」

についても、「記帳と統制」の組織化で先進的地位を獲得しさえすれば、ロシアの経済的なおくれを克服して『経済的にも』先進諸国を追い越すことができるといった見地―がしばしば見受けられました(p67)」といったことが言われる。

不破はレーニンの「記帳と統制」を批判する(生産力問題の無視、市場の否定等として)が、レーニンには社会主義―共産主義とは労働者自身による生産と労働の管理(能力)という直感があり、それは産業・企業・生産手段や科学や分業や労働編成と相互間の節目を管理し統制し記録してゆくことだという直感があつたと考えられる。(スターリン体制)

不破の「生産手段の社会化」・「計画経済」は、ソ連でのヒエラルキー・指揮命令といった素材をさすがに取り除いたわけだが、その分空洞であり、分配主義批判・生産力発展・労働日短縮・自由の王国・自由人の連合、結合された生産者たち、個人の発展といった言葉には素材的現実的

社会・労働連関は全くないわ

けである。

(純理論的には、「生産の社会化と私的所有の矛盾」基本的矛盾論」とか「絶対的相対的剰余価値生産」相対的過剰人口における労働の実質的包摂—労働者支配批判の欠如」とかあるのだが)

そしてスターリン主義といつても前近代的なものではなく、資本主義—近代機械制大工業下での科学・自動機械・管理・分業・階層制のもとの、目前の生産性・能力主義、階層制と差別、競争、管理—指揮至上等の自然発生性にハイキしたものであり、それが一党一分派支配と結合したものであるから、スターリン主義類似は絶えず登場するのだ。(早くも共産党—不破哲三は分業批判をやめると宣言している(「マルクス未来社会論」))

—こうしたことから、労働者(自主)管理、分業止揚、コミュニケーション型国家、等は分岐となっている。

⑥ (資本による生産手段の所有と労働・交換の支配との関係)

こうした生産手段の所有制、労働組織・自主管理、交換、(さらには分配)、といった問題は資本主義の直接の結果である。

資本主義は生産手段、なら

びに科学や分業をふくむ労働組織(ならびに交換)と労働を土地から(相対的に)分離し、それを資本の所有・支配・交換の対象とすることで発展したのであった。従って資本主義に対する人々(労働者)の自由・権利とは、(生産手段所有制のみならず)、各人ならびに全体の労働(と交換・流通)への管理運営権が基本となる。そして社会とそこにおける自分が何をなすべきか、何をなしうるかを考え、判断し、主張・討論し、決定・行動する経験と能力は、政治的分野と労働における管理活動、科学的知識的活動、物質的肉体的労働、あるいは農業労働を移動する経験と権利と責任を経て形成される。社会はこうしたことを相互保障し、計画しなくてはならない。

これは、権力をとつたばかりの、あるいは生産手段を社会化(公共化—国有化)したばかりの労働者が直面する問題である。資本は生産手段を所有しているばかりでなく、何をいかに生産するか、いかなる機械・科学・労働組織・編成・賃金体系・労働強度で……といったことを構想してきた。労働者は資本の指揮命令のもとで部分・分野・単純労働を強いられてきたのであるから、こうした全体を担うには多くの経験、さらには政治的経験、文化的・科学的訓練を経、視界をもたなくてはならないわけである。それらは集団の力(労働者自己決定)ではあるが、それを構成する各人の視界・能力、したがって自由、が前提されるのである。すなわち資本のもと圧制・工場制度の武器とはなつてきたが素材的には引き継ぐ、自動機械、科学、管理、精神労働・物質的肉体的労働の編成、分業と階層制、専門的単純労働、賃金体系、各種相対的過剰人口といったことと同管理・止揚ということを担うのである。

また社会的生産部門間(第一部門、第二部門)、ならびに部門内での労働とその配分比率、「社会的平均的労働」の比例比較関係、生産性の比較、品質の比較、需要(消費)者または次行程)の均衡・比較という問題を担うのである。

さらには発展・開発すべき方向、科学技術、生産手段、労働の諸編成、合理化の方向、といった領域がある。そこでの「競争」要因といったことがある。こうした課題を労働者自身が引き受け、判断し、討議し、決定し、実行してゆく経験・学習過程として過渡期があるのである。

安倍自公政権打倒集会

日時：12月6日(土) 6時
場所：文京区民センター

憲法改正を許さない

10月24日(金) 18:30~20:00
神田・学士会館

話し手

- 辻 恵 (前衆議院議員)
- 白井 聡 (政治学者)
- 森田 実 (政治評論家)

主催：情況出版 他

NO VOX 未来に種を蒔く！
世界を変えるために

2014年11月3日(月)

【集会】 1:15pm 開場 / 1:30pm 開始
スペースたんぽぽ

【デモ】 4:00pm 集合
西神田公園

11.3 [持たざる者]の
国際連帯行動

土と平和の祭典

2014年10月19日 朝10時

台場・潮風公園・太陽の広場

種まき大作戦が贈る
大地に感謝する収穫祭

みんな家族！

Yae/ 藤本八重・実行委員長

加藤登紀子・種まき大作戦世話人代表

我が国と密接な関係にある他国が 武力攻撃を受けた場合

唯野 穰

沖繩をすみかとして十余年。「よりよき旅の案内人」と称して主にヤマトから訪れる少人数あるいは個人の旅人を相手に案内人をしておりませず。観光ガイドとは違い、文化や歴史を学び味わいその土地のもつ力を共感するような体験をしながら、今沖繩に暮らす人またかつて沖繩に生きた人々と関わる旅、ご自身との新しい出会いを実感するお手伝いを、と心がけています。

「9・11」により沖繩の観光収入が激減した2001年、私は20年近く勤めた東京の私立中学校を依願退職する頃でした。自分の周りの様々な状況が変わった時期。イラク戦は退職して一年後に始まりました。思うところあって当時のスクラップやメモ、デジタルデータをひっくり返して

いるうち、私の娘が父との思い出を語る場面から始まるフィクションを書くことを思いついたので。読者になにか新しい想いが湧くようなことが起こるとすれば幸いです。

2011と2012、私は都立X高二年生だった(カメちゃん筆)

1 2001年九月(迷走 台風が島を守った?)

9月6日に石垣島近海で発生した台風16号は、8日に沖繩島を通過し島は暴風にさらされた。その後16号は進路を西に向け遠ざかったかに見えましたがまた進路を変え、11日には以前より強い勢力で再接近。11日から13日にかけては沖繩近海でほぼ停滞、沖繩島、久米島、慶良間諸島は長時間にわたり暴風にさらされた。そのあと南西諸島から遠ざかり、東シナ海上では依然ゆっくりとした速度で複雑な動きを続け、9月16日に台湾に上陸して勢力を弱めて熱帯低気圧になったものの、20日には再び発達して台風に戻り中国に上陸して消滅した。

亜熱帯海域での台風の迷走はよくあるとは言いがこれほどのものは実に珍しい。南西諸島から台湾あたり的大海原に相当のエネルギーが渦巻いていたのだ。

台風は去ったが在沖米軍の特別警戒の態勢は継続。日本の警察と自衛隊もそれに協力、沖繩への旅行者はぐんぐん減っていく。巨大軍事基地の存在が大きな負の要因となることは明々白々となった。

私が都立X高校の2年生の時に、9・11事件は起きた。父はビルに激突するニュース映像をテレビで見ながら、沖繩はどうなっているかと小さな声で独り言のように言った。在日合衆国空軍の嘉手納エアベースが標的になっていくに違いないと。合衆国の経済、政治、軍事の象徴的建造

9月6日に石垣島近海で発生した台風16号は、8日に沖繩島を通過し島は暴風にさらされた。その後16号は進路を西に向け遠ざかったかに見えましたがまた進路を変え、11日には以前より強い勢力で再接近。11日から13日にかけては沖繩近海でほぼ停滞、沖繩島、久米島、慶良間諸島は長時間にわたり暴風にさらされた。そのあと南西諸島から遠ざかり、東シナ海上では依然ゆっくりとした速度で複雑な動きを続け、9月16日に台湾に上陸して勢力を弱めて熱帯低気圧になったものの、20日には再び発達して台風に戻り中国に上陸して消滅した。

亜熱帯海域での台風の迷走はよくあるとは言いがこれほどのものは実に珍しい。南西諸島から台湾あたり的大海原に相当のエネルギーが渦巻いていたのだ。

台風は去ったが在沖米軍の特別警戒の態勢は継続。日本の警察と自衛隊もそれに協力、沖繩への旅行者はぐんぐん減っていく。巨大軍事基地の存在が大きな負の要因となることは明々白々となった。

2 2001年十月(私の身に嵐の気配)

数週間の後、私の身近に大人数の争いが迫っていた。私達X高の2年生は沖繩への修学旅行を翌月に控えている。

9/17 ピリピリまるで開戦前夜(県警 ホテルなど点検、イスラム過激派入国情報で)

9/18 嘉手納も臨戦態勢「作戦準備を進めよ」司令官軍内テレビで強調

9/19 沖繩敬遠すでに900人飛行機使わずTLDへ修学旅行に不安の声

9/24(社説) 同時テロと沖繩の位置 湾岸戦争を上回る警戒 基地あるがゆえの負担

(注) 日本時間の10/10 06:24 発「ジハードは今や宗教的義務、闘いは合衆国の中枢に持ち込まれた、イスラエル支援とイラク封鎖を中止するまで闘いは合衆国内で続く、航空機の強襲は止まない」などの内容で、対米聖戦を呼びかけるもの)

た。だから新たに台風が発生して飛行機が飛ばなくなると旅行が中止になったらどうしよう、と心配していたのだったが、それよりもっと大きな嵐が全国の高校2年生に、いや正しくは沖繩県を除く全国の高校2年生に迫っていた。アルカイダの声明なるものが報道され(注)、修学旅行の航空機利用は避けるべきという声がかかります強くなってきたのだ。

父は私立S中学校の教師をしていて、10年以上前から沖繩へ生徒達を連れて行っていた。私も保育園に通っている頃から沖繩の幾つかの島々に旅行した経験がある。はじめは父と二人、その後家族や親戚と何度も。幼馴染みの数家族で遊んだり学んだりしていたりも。

今度は高校の行事で沖繩に行けると楽しみにしていたから、X高がいつ、どんなふう

に判断するかドキドキしていた。

十月に入ってからからの新聞の見出しはこんなふう。

10/4 米テロ 観光直撃 基地沖縄の苦悩うわさ独り歩き

10/5 「今沖縄に来ること は、平和を考えるチャンス」 (佐喜眞美術館で神奈川からの修学旅行生の声)

10/11 観光キャンペーン 実施へ 尾身担当相 国庫に資金相談窓口

10/12 観光収入480億 減 琉球銀行、観光客10% 減で試算 県議会15日にも安全宣言

頑張れ沖縄 僕らが応援 (鳴門市二中) 沖縄から派兵は日米安保に 違反 知事公室長が見解

米軍パキスタン入り 南北からタリバン挟撃へ 「観光安全宣言」を採択 県 議会経労委、全国で誘客活動へ

観光キャンセル 基地強制の結果 社会大衆党 県や国に 補償要求

近所に住んでいる中学校時代の仲良しが通っている都立T高は、予定通り沖縄への旅行を終えた。その直後、X高に通う私は担任から保護者宛の「お知らせ」を受け取った。私の高校二年の思い出として忘れられない半年間が始

まったのだ。

ここから先は父の書いたものを並べることにする。父個人のウェブサイトに公開されているものを適宜並べかえながら整理していく。

3 2001年10月(父が東京に本拠地を持つ琉球音楽グループの月報に連載)

■加害者はどこにいる? 【基地被害も風評被害も根は一つ】

ぼくの好きなうた(連載第47回) らふて いさを

十月十八日木曜。帰宅した娘が東京都立X高校の「お知らせ」を鞆(かばん)から出した。いやに冷ややかな顔をして。

「うちの学校は行けると先生が言ってたし、都立T高に通ってる近所の友達は無事に沖縄から帰ったばかり」と興奮気味に話す。

そういえば私が買ってきたのではない、黒糖南京豆が一袋、台所にあった。そうだが、友達からのお土産(みやげ)だったんだ。

学校の通知には、『安全』の確保がなされていることは認識している」と明言した上で、特にアルカイダの「報復テロ宣言によって状況は一

変、「生徒及び保護者の中で沖縄修学旅行に対する『不安』が広がっており」「不参加者」が多数出ることが予想される修学旅行の実施を進めることはできない」と断言口調。

一読してワジワジする私、娘はそれ以上に興奮。

丁度その週末に、以前から予定されていた二学年全体の保護者会がある。間違いなく修学旅行中止の説明があるだろうってんで、急いで質問状を書き上げて翌日、金曜にファックスした。タイトルの前に新崎盛暉が72年に書いた『沖縄のこれから』の冒頭を載せた。

……沖縄は四十七都道府県の一つです。沖縄県の人口は約130万人で日本の人口の約1%、面積は2388平方キロで日本全体の約0.6%です。この沖縄に米軍の軍事基地の75%が集中しています。……

※ 安保条約の生む不利益を不本意に押しつけられて来た沖縄に対しての、新たな差別につながる不安慮する。

※ 『安全』な時には沖縄を訪れ『平和のための学習』をし、このような時期には

『不安』を理由に沖縄を遠ざけるような態度を私は取りたくない。娘にも取らせたくない。

※ 軍事施設の存在は今回の事態に限らず日常的に危険な存在、『不安』はそもそも沖縄修学旅行のはじめから孕んでいるもの。

※ アルカイダの声明は「米本国への攻撃」を言っている」と読む。また、ビンラディンが「広島・長崎の原爆被害」に言及していることやアフガニスタンの「親日的」姿勢も報じられている。視野を広げて考えたい。

※ 「行先の変更を検討」とまで書かれているが、そもそも修学旅行の位置づけはどうなっているのか。

※ 風評に流されぬ理性的で明快な説明を望む。 など、B5の2ページに何とか詰め込んだ。字数は二千字以上になっていた。

土曜の午後。X高の講堂。校長と担当教諭は説明した。「米英の空爆が始まり、アルカイダスポークスマンの声明なるものが報道され、修学旅行をめぐる状況は一変した。近くの四、五校の都立高校が次々と中止を決めていき、またその頃に保護者から『不安』の声が学校に電話で寄せられた。」

マイクを握った私は「旅に不安はつきもの。基地の島、沖縄への旅行を計画し始めた時から不安は覚悟していたはず、何のために学習を重ねてきたのか。私達がこんな話し合いをしている間にも、沖縄では相変わらずフェンス沿いの学校生活があり、人々は飛行機を利用して。論理的な説明を」。

担当教諭が辛(つら)そうに言う。「こういう時こそ有意義な旅行ができる、と生徒も教師も意気込んで事前学習を続けて来た。学年会の教師の意思統一にいたらなかった。つかみかかる寸前の激しい議論をした。」

何とか行けないものか、という発言が保護者の間から相次いだ。その流れのあとで、中止決定を歓迎する旨の短い発言に座席から数名の拍手が起る場面もあった。これには大いに「？」だった

が、今考えてみればその人々が電話で学校に中止を要望した連中(注)だと察しは付く。

「納得しがたいが決定は尊重する。生徒達とともに沖縄旅行を計画したい、冬休みか春休みに。個人の責任で。」と再びマイクを握った私。校長に、その私の行動への黙認を取り付けた。

後日、旅行担当の教師と二人で話す機会があった。ややオフレコの話だが、と前置きをしたあと、「ある保護者から電話が掛かり、『子を持つ母親の気持ちやY先生には分からないでしよう』と激しく迫られ(注：保護者会での説明の中にあつた『不安の声』がこれ、後に信仰団体のメンバーという噂も)、答えに窮したとのこと! これが学校を大きく動かしたのだったか——アギジャビョー!——忘れてはいけない! 『本土並』のはずが『75%』! 基地被害の止まぬ沖縄! その沖縄でこれまで、どれだけの母親達が父親たちが祖父母たちが、危険にさらされ続ける島の子供達の境遇に涙してき

たか! 『修学旅行』とは大和によ

る、偽善的な、御都合主義き
わまらない沖繩利用法に過ぎ
なかつたのか。その挙げ句、
「中止続出」が島の経済への
大打撃となつて琉球・沖繩を
襲つてゐる。今般流行の「大
和から沖繩への修学旅行」の
正体はこんなものだったの
だ!

同化と差別、同化と差別、
同化と差別……その大和の背
後に同盟国US——私の心は
静まらない——

4 2001年十一月(連載
中の文章「ぼくのすきな
歌」(続き)

二週間後の十一月はじめ、
JASの誕生日特別割引を利
用して(往復二万円を押さ
えてあつた)一泊二日の旅。
「嘉手苺林昌三回忌追悼公演」
(注1)を聴くことを主目的
としてコザに行つた。荒だつ
気持ちを引きずつたまま。

唐(とう)ぬ世(ゆー)か
ら大和(やまと)ぬ世、大
和ぬ世からアメリカ世
ひるまき変わったる くぬ沖
繩(うちなー)

「時代の流れ」で開幕。二
千人近く入ろうかという沖繩
市民会館大ホールは満席、立
ち見も出ていた。
高嶺剛の映像も紹介され

た。「もしもしちよいと林昌
さん、わたしやアナタにホー
レン草」(注2)の一部。「オ
ト」の一挙手一投足に会場
から笑いが漏れる。

あたが我が沖繩(うち
なー) 品物ぬ例(たと)う
取(とう)たい取らつたい
上(かみ)にまかち
下(しむ)むあてい上
(ういー)や 役立ちゆるむ
い
下む無(ねー)ん上ぬ 何
(ぬー)役立ちゆるむ

林昌の母親うしの作つた歌
である。彼はナークニーにの
せてこれを唄う。林昌という
子を持つた母はどんな気持ち
で親としてこの世を生きたの
であろうか。

舞台上に誠仁、美佐子、愛
子、とみ子、定男、幸一、哲
弘、見慣れた顔がある。会場
出口でやはり追悼公演を聴き
に来ていた佐喜真(さきま)
道夫一家に会う。明日美術館

で会いましょうね。夜は例に
よつて、民謡酒場めぐりとな
りまして、娘の学校を含め全
く情けない(文字通り「情」
を欠いている!)大和人に痛
めつけられているかも知れな
い琉球・沖繩を励ますつもり
の一泊二日の旅は、いかにせ
ん、あいかわらず元気な沖繩
人の皆さんに大いに励まされ
てしまふ旅とはなりました。
重ね重ね有難う。
(文中敬称略)

【参考】
(注1) 嘉手苺林昌追悼公
演(2001年11月4日)
(注2) 「嘉手苺林昌 唄
と語り」(監督・高嶺剛
1995年)

5 同じく十一月(父のピ
ラ、私と友人達の手で配り
始めた)

沖繩への旅を企画しましよ
う! 「沖繩修学旅行」への
思いを引き継いで。
(都立X高等学校の二年生
の皆さん、保護者の皆さん、
そして「沖繩修学旅行」に関
わる皆さんへ)
2001・11・14(水)
いさを(二年八組保護者)
MILD*****@nifty.com

先週の月・火の二日間、沖
繩に行つてきました。コザで
民謡を楽しみ、美術館館長の
佐喜真道夫さんと語り、玉城
村の祭で友人達と会つてきま
した。振り返ると今年ほほほ
毎月訪れていきます。仕事(私
立中学校の修学旅行など)と
趣味(民謡ほか)で。大切な
島、沖繩。

その沖繩に対してX高校は
一つの態度を表明しました。
「沖繩修学旅行」の中止です。
私は日頃、X高校の教育に敬
意を表しています。修学旅行
にも期待してきました。念入
りな準備が進み、X高初の沖
繩修学旅行は目前でした。
旅には不安がつきもの。行
き先を沖繩へ決定した時点
で、保護者も不安は十分承知
していたはず。軍事基地の集
中している場所へ行くことと
航空機で往復することへの不
安がその中心だつたと思いま
す。

9月に起きた合衆国での
事件、その後の報復的な軍事
行動から生じた日本国内の風
評に動かされた人々に、私は
言いたい……同じ国内で心理
的に距離感のある場所(沖
繩)に軍事基地を集中させた
ままで何十年も過ごしてい
て、「安全」な時期には「平
和学習のために」などと称し
て利用し、「非常時」には我

が身を遠ざける——あまり
に身勝手な姿に見えません
か?、と。
沖繩には、今も変わらず
人々の日常生活があります。
安全を求めて島を離れる人が
増えたなどということは起き
てません。ましてや日本政府
や合衆国軍の指示で(もしくは
は自主的判断で)基地の島か
らの避難(疎開)が始まるな
どといった気配は、微塵もあ
りません。
また、他の道府県の公立高
校や一部の都立高校、私立学
校が予定通り沖繩への旅行を
実施していることも、広く報
じられています(X高のお知
らせのプリントにも「安全性
は確保されている」と明言し
てありました)。一部の私立
高校では旅行先を海外から沖
繩へと変更した例も少なから
ずあるのです。

こんな状況を総合的に考え
ると、一層、X高校の下した
判断には納得がいきません。
沖繩への修学旅行を断行すべ
きだつたのにと残念でたまり
ません。しかし今更、決定を
覆すことは無理でしょう。
そこで私は、自分のできる
限りのことをして「中止」と
いうマイナスを小さくした
い、と考えました。私と似た
考えの人は少なくないと信じ
ます。生徒の皆さん、保護
者、先生、そして関係する

人々に呼びかけた……力を
合わせて、新たな「沖繩への
旅」を企画しましょう。沖繩
にいる私の知人たちもぎつと
喜んで協力してくれます。歓
迎してくれます。
先月の学年保護者会でも、
私は「沖繩への修学旅行がな
くなるのであれば、それに替
わるものを私は計画したい」
と発言しました。それです。
具体的な旅程は、「X高校
の果たせなかつた沖繩修学旅
行計画」を土台にして考えて
いくのがよいと考えます。そ
れに手を加えて、今回限りの
特別な意義深い「旅」を作り上
げるのがいいと思うのです。
関わる人々の「思い」が有
機的に作用することで、世に
二つとない素敵な旅ができる
ことでしょう。「中止」とい
うマイナスが大きなプラスを
生む事に期待しています。時
期は冬休みか春休み。私は引
率者(保護者/責任者)とし
て万全を期すつもりです。
「思い」を大事にしなが
ら、あくまで「理」の通つた旅を
ぜひと実現したいもので
す。

さて、11月4、5日の沖繩
旅行で私は、那覇、玉城、知
念、佐敷、南風原、コザ、宜
野湾、などをレンタカーで回
りました。町でも村でも海辺
でも基地周辺でも、人々の様

子は以前と変わりませんでしたが、もつとも、空港は閑散としていて、客待ちのタクシーが溢れていましたし、レンタカー屋はがらがら。そして各基地のゲートには、日本から動員されたでしょう、ずいぶん警官が増えたな、という印象はありましたが。

この十年間に私が仕事や趣味で蓄えた「知識」や、「知人」という「財産」をもとにしながら、皆で力を合わせて「新たな沖繩への旅」を作り「未来」に役立てたいのです。こんな時にこそ、皆で思いと力を合わせて。

インターネットの掲示板「ぼてと」に同じ文章を載せました。

【http://****.co.jp/の「沖繩への旅」】です。読みに行って書き込んでください。そしてどしどし宣伝して下さい。

いさをの連絡先FAX番号
0424-41xxxx

6 同じく十一月「電子掲示板「ぼてと」の記録」

●初めに「手紙」の写し
都立X高校二年生、そしてその保護者の方、関係する

方、当然先生方にも、ぜひ読んでいただきたい「手紙」です。すでにご覧の方も、どうぞお読みください。
X高校の生徒、保護者、教職員で、この呼びかけに賛同される方は、どしどしここに返信を書き込んで下さい（当然、匿名でかまいません）。

冬休みの実施を目指すとしたら、そうそう時間があります。よろしく。

15 07:50 機種:「PC」

●固有名詞にご注意を
印刷し手渡しを始めた「手紙」では（当然）学校名は実名で書いてあります。でも掲示板は不特定の方に開かれているので、その学校名（固有名詞）を書き込んだ発言は、自動的に登録を拒否する設定にしております。皆さん、ご注意ください。

公開してよいか迷うような場合は、どうぞ電子メールで私に連絡して下さい。なるべく早く、御返事いたします。（発信者:いさを） 11/17 20:42 機種:「PC」

●手紙を配る良い方法？
手紙は、私の子とその友人たちが手渡しで配り始めましたが、約300人の二年生に対して、今はまだ20-30枚程

度です。
冬休みも近づいているので、早く知らせたいのです。「校門の外で手渡し」「郵送」以外の方法はないものかと思索しています。
知恵のある方はアドバイス下さい。
（発信者:いさを） 11/19 14:31 機種:「PC」

17 20:42 機種:「PC」

●つづき
私達で協力して、できるだけ多くの人に配るので、どうか私共に任せてはいただけま

せんでしょうか？
（発信者:マチルダ） 11/20 11:12 機種:「i」
▼返信内容2件
書き込み感謝！
「協力」の一言に感涙です！
今、娘と配り方について、話したところでした（食卓で）。

●こんにちは。初めまして、いさをさん！
私はカメちゃんと同じクラスでいつも楽しく学校に通っています。この前の保護者会でのいさをさんの発言は、多くの保護者さまから聞かされております。あなたさまの沖繩に対する思い、少しでも理解したつもりです。
マチルダはカメちゃんから直接ビラをいただき拝見しました。でもまだ見ていない者は多々います。あなたさまは明日、学校前で配布するとおっしゃっているようですが、カメちゃんのことや心配です。他に方法はないでしょうか？ マチルダも協力スルノデ！
（発信者:マチルダ） 11/20 09:57 機種:「i」

19 14:31 機種:「PC」

●「協力」の一言に感涙です！
今、娘と配り方について、話したところでした（食卓で）。

●「協力」の一言に感涙です！
今、娘と配り方について、話したところでした（食卓で）。

●「協力」の一言に感涙です！
今、娘と配り方について、話したところでした（食卓で）。

●「協力」の一言に感涙です！
今、娘と配り方について、話したところでした（食卓で）。

●「協力」の一言に感涙です！
今、娘と配り方について、話したところでした（食卓で）。

●ありがとうございます
いさをさんの娘さん（カメちゃん）が学校に来てくれました。ニコやかでした。
やはりチラシは僕らが協力して配りたいと思います。アクセスE数が増えるといいですね(´▽`)
（はじめ） 11/21 13:24 機種:「J」

●沖繩行きてえー！
俺も沖繩行きたいです。なんで他の学校は行ってるのにウチだけ行かないんだあーっ！
（i-T+） 11/21 14:13 機種:「i」
▼返信内容6件
ほんとだよ
初めての沖繩で楽しみにしてたのになあって感じ。。。ぜひ行きたい！
（フーフアイターズ） 11/21 14:40 機種:「i」
その思いを伝えたい。
その思いをここに表明することから発展させて、ぜひ沖繩の多くの人に伝えたい。
若い、つていいねえ。（年ではない。気持ち若いつて言うこと）
私は引率者に徹します。（沖繩旅行の引率経験は十回以上です）
心の底から沖繩に行きたいと思う高校生の皆さん、その

●「協力」の一言に感涙です！
今、娘と配り方について、話したところでした（食卓で）。

●「協力」の一言に感涙です！
今、娘と配り方について、話したところでした（食卓で）。

●「協力」の一言に感涙です！
今、娘と配り方について、話したところでした（食卓で）。

●「協力」の一言に感涙です！
今、娘と配り方について、話したところでした（食卓で）。

●「協力」の一言に感涙です！
今、娘と配り方について、話したところでした（食卓で）。

●「協力」の一言に感涙です！
今、娘と配り方について、話したところでした（食卓で）。

●ありがとうございます
いさをさんの娘さん（カメちゃん）が学校に来てくれました。ニコやかでした。
やはりチラシは僕らが協力して配りたいと思います。アクセスE数が増えるといいですね(´▽`)
（はじめ） 11/21 13:24 機種:「J」

●沖繩行きてえー！
俺も沖繩行きたいです。なんで他の学校は行ってるのにウチだけ行かないんだあーっ！
（i-T+） 11/21 14:13 機種:「i」
▼返信内容6件
ほんとだよ
初めての沖繩で楽しみにしてたのになあって感じ。。。ぜひ行きたい！
（フーフアイターズ） 11/21 14:40 機種:「i」
その思いを伝えたい。
その思いをここに表明することから発展させて、ぜひ沖繩の多くの人に伝えたい。
若い、つていいねえ。（年ではない。気持ち若いつて言うこと）
私は引率者に徹します。（沖繩旅行の引率経験は十回以上です）
心の底から沖繩に行きたいと思う高校生の皆さん、その

●「協力」の一言に感涙です！
今、娘と配り方について、話したところでした（食卓で）。

●「協力」の一言に感涙です！
今、娘と配り方について、話したところでした（食卓で）。

●「協力」の一言に感涙です！
今、娘と配り方について、話したところでした（食卓で）。

●「協力」の一言に感涙です！
今、娘と配り方について、話したところでした（食卓で）。

●「協力」の一言に感涙です！
今、娘と配り方について、話したところでした（食卓で）。

●「協力」の一言に感涙です！
今、娘と配り方について、話したところでした（食卓で）。

●ありがとうございます
いさをさんの娘さん（カメちゃん）が学校に来てくれました。ニコやかでした。
やはりチラシは僕らが協力して配りたいと思います。アクセスE数が増えるといいですね(´▽`)
（はじめ） 11/24 00:14 機種:「PC」
俺も行きたい！
きむちさんやコバーンさん同様、僕も一回は沖繩の美しい自然を見たかった。
（はじめ） 11/24 07:27 機種:「J」
追加
フーフアイターさんもおね(´▽`)書くの忘れてました。
（はじめ） 11/24 07:31 機種:「J」
その時が今。行きたいときに行けるのが最高、とりあえず、冬休みか、春休みに行きましようね。ヴォルテージを高めていきましよう。
（いさを） 11/24 23:04 機種:「PC」
今テレビで:
外国への旅行は多発テロによって激減したという。しかしこういう時だからこそアメリカ:その他の国:そして沖繩へ行き改めてその地のすばらしさを見に行くべきではないだろうか？ 確かに恐怖感もあるだろうがそれに打ち勝たなければいつか行くであろう海外への旅への道は開けないと思う。
（フーフアイターズ） 11/25 23:01 機種:「i」

●「協力」の一言に感涙です！
今、娘と配り方について、話したところでした（食卓で）。

●「協力」の一言に感涙です！
今、娘と配り方について、話したところでした（食卓で）。

●「協力」の一言に感涙です！
今、娘と配り方について、話したところでした（食卓で）。

●「協力」の一言に感涙です！
今、娘と配り方について、話したところでした（食卓で）。

●「協力」の一言に感涙です！
今、娘と配り方について、話したところでした（食卓で）。

●「協力」の一言に感涙です！
今、娘と配り方について、話したところでした（食卓で）。

●「協力」の一言に感涙です！
今、娘と配り方について、話したところでした（食卓で）。

●タイトルなし

みんなありがとう！ すごい助かったです。もうほんとにありがと！！

学校の人が配るのは恥かしいけど、がんばって配るね。

(発信者：カメ) — 11/21
20..33 機種：「PC」

●チラシ以外でも

チラシは限られた人にしか配れないと思ったのでポテトのアドレスを載せたチェーンメールを作りました。皆にやささをさんの熱意を伝えられたら良いなあと思います。

(発信者：はじめ) — 11/21
21 21..00 機種：「J」

●うた、作ったよ

自作の短歌と「ぽてと」のアドレスを刷り込んだカードを作った配ろうかと考えました(昨日)が、カメちゃんに「センスが良くない、止めて」と言われたので、実行していません。

チェーンメールというものがよく知りませんが迷惑からなければ良いとおもいます。それにしても、書き込みが増えてきて私は大喜びです。みなさん有り難う。ますます情報を広めてください。

(発信者：いさを) — 11/21
21 22..33 機種：「PC」

●がっかり

X高校に通う息子の保護者です。文化祭で白雪姫をやっていたお嬢さんのファンです。私も学校の決定にはがっかりしました。日ごろ自由な学校を標榜している割には決定過程に保護者や生徒が参画する自由はないようです。きめてしまつて、了承ください。はちよつとひどい。責任逃れしか考えていないとしか思えません。がっかりしています。

話はかわりますが、親子の關係に感心しました。お嬢さん、友達もついているしがんばってね。

(発信者：保護者1) — 11/21
21 22..49 機種：「PC」

▼返信内容2件

応援してくれてありがとうございます。お父さんが校門の前で全員に配るより、自分で配る方がいいと思つて配ることになりました。みんなに父の気持ちを伝えることと校門で配られないつていうのを目標にして努力します！

「白雪姫」見てくれてありがとうございます。でも、演技も下手で恥ずかしいので思ひ出さないでください！！

(カメ) — 11/22 00..44
機種：「PC」
大人の書込、嬉しい！有

●指摘

せつをじゃないよ、いさをだよ。ねむい。

(かめ) — 11/22 00..31
機種：「PC」

▼返信内容1件

すんません
地学の先生と間違えました

●がんばれ!

せつをさんの熱意がすごく伝わってきます！ なんか感動です！ 沖繩行くぞぞ！

(カート・コバーン) — 11/22 00..14 機種：「i」

●指摘

「白雪姫」のこと忘れてました。娘も多分忘れてたことでしょう。喜んで顔でコメントを打ってました。

さて、次は保護者2さん、そして先生かも。大人も高校生に混じつて、書き込みに来て下さい！

(発信者：いさを) — 11/22 13..52 機種：「i」

●粗い案

一泊は玉城村の海岸近くの民宿(定員40人ほど)に泊まつて、南部のガマ、資料館、平和の礎、他をまわり、

一泊は読谷村の民宿(定員15名ほどの所)を一つの拠点にして、現在の基地の様子やガマを見学、これで最低二泊。

【B案】

加えて佐喜眞美術館と、できれば首里の博物館と首里城、くらいをイメージしてま

冬は泳げませんね。春はどうかな？ (宮古や八重山でなら三月に泳いだことあるが)

水に入るかどうかは別にして、自然の海辺でのんびりした時間は必ず確保すべし、

というのが私の持論です。それと沖繩人と語り合う時間も、必ず入れましょう。

(発信者：いさを) — 11/22 01..25 機種：「PC」

▼返信内容2件
少し詳しく

【A案】
1日目
朝出発、昼は豊見城の「ていみぐしくすば」(民謡歌手Gさんの店)で沖繩そば定食。玉城のグシク(城跡)で気持ちのいい海を眺める。糸数塚(ガマ)見学。新原(み

いばる)ビーチの民宿に泊
2日目
平和記念資料館、平和の礎、ひめゆり資料館、南部の戦跡を見学。民宿新原に泊。
3日目
玉城の陶芸家の工房で工芸体験。玉泉洞王国村でエイサー見学、食事。あるいは首里城。あるいは佐喜眞美術館。那覇空港へ。

上記A案の2日目夕刻から中部へ。読谷村の民宿「何我舎(ぬーがやー)」(知花昌一さんの家)泊。
3日目
チビチリガマ、シムクガマ見学。「象の檻」(米軍通信施設)。嘉手納基地の脇の丘から基地を見る。佐喜眞美術館。那覇空港へ。

(発信者：いさを) — 11/25 19..56 機種：「PC」
※付け足しです。希望者は夜の民謡ショーも(コザか那覇で)、私が運転して行きま

す(20歳未満はアルコール無し)。
※三泊の案も考えています。首里城(那覇市首里)、玉泉洞王国村(玉城村)、琉球村かむら咲き村(どちらも読谷村)。
※いずれにしても玉城村と読谷村が主。

(いさを) — 11/25 20..02
機種：「PC」

●憤り

掲示板の主旨とは違いますが私が感じた事を書かせて下さい。

私はX高校の生徒です。先日担任が「旅行の変更が岡山になったのはそしか空気が無かった」と言ったのです。旅行自体に意味は無く建前上意味を後付けしたと言うことですよ。旅行が中止しない理由は「業者の保護のため」だと、それってオカシクないですか？業者から学校にバックマージンが入つてるとしか思えません。

(発信者:カゼ) 11/22 14:01 機種:「PC」

▼返信内容1件 なるほど。

ある先生に保護者の立場でこう伝えたことがあります「沖繩への修学旅行には魂があつた。新しい修学旅行には魂がない。抜け殻のようなものだ」。当然のことを言ったのですが、反感をいしました。私は十月二十日の保護者会でも「行き先変更」には理がない。『修学旅行中止』という表現が理にかなう。と強く申し上げました。今は『修学旅行』放棄だと思つています。

(いさを) 11/22 14:12 機種:「PC」

●文部省と国土省が！

二省が連名で各学校に通達(11/14)「沖繩視察への参加(協力依頼)」を。今、現物を前にしていま

す、要約します。

1「米国テロ事件後沖繩県民の生活は特段の影響はあないが、修学旅行のキャンセルが多くなり憂慮している。沖繩観光の一刻も早い回復が必要。」

2「二省が連携し各都道府県教育委員会に対し、沖繩修学旅行を予定通り実施するよう要請中。」

是非続きを読んで下さい！怒らないで、落ち着いて！(いさを) 11/22 21:46 機種:「PC」

▼返信内容2件

要約の続きです。

3「加えて、国土省は内閣府と沖繩県の協力を得て、修学旅行関係者沖繩招へい事業を実施。」

4「以下、旅行の具体的日程、コース。そして費用は当方で負担。」!!!!

※つまり都立高校の先生が(各学校で何人かそれぞれの学校の校長が仲介して)国費で、緊急に、沖繩修学旅行実施を増やすための沖繩視察旅行をする、と言うことです。

*12月と1月の四時期(各45人) *二拍三日(那覇と恩納村) *那覇市内、玉泉洞、

嘉手納基地、安保の丘、東南植物楽園、琉球村など視察 *集合解散の羽田空港、関西空港までの旅費は自己負担。

(いさを) 11/22 22:09 機種:「PC」

●校長はどうしてるかな

今書いた文部省と国土省の通達はX高校にも届いたはず。皮肉なのは発信が11月14日！X高校(幻の)沖繩修学旅行中の日付です。校長はこの通達をどんな思いで見ているのだろうか……

つくづく、生徒や保護者の「全体の声」を聞かずに「沖繩行き中止」を決定したX高校の体質が問われるところでしょう。

私は怒りと哀れみを感じます。大きな被害を被つたのはX高校の生徒。そして何より沖繩と沖繩の人々！

ことあるごとに大和の人間は、沖繩の人々に愛想を尽かされる要因を作り続けている！あああああ。

(いさを) 11/22 22:22 機種:「PC」

▼返信内容6件

一般的に、先生は先生になつて時間が経てばたつほどだめになります。初心も理想も忘れて行きます。また偉く(?)なればなるほどだめです。駄目な人間しか偉くなれ

ません。とくに教頭、校長は教育者ではなく教育管理者です。(金田二) 11/24 10:10 機種:「PC」

わが娘は気の毒ではありません。二世代住宅で両親祖父母の四人が教師、学校で教師と付き合ひ家でも教師と付き合つて息が詰まるんじゃないかって、心配ですが、この環境で生き抜いておる彼女です。立派立派。

X高の場合、保護者も保護者だよ。決め方がめっちゃめっちゃだよなあ。本当の自由を保障して欲しいものです。 give peace the chance!

(いさを) 11/24 23:48 機種:「PC」

●女男の区別無く発言を 10/20保護者会で男性の発言が続いた後、女性が短く発言「学校の判断に賛成。(ぜひ沖繩へ行くべきというような)勇ましい発言をするのは男ばかり」というような内容で、すかさず会場の一部分から複数の拍手がありました。後になつて考えてみると、学校に対して「子を持つ母親の気持ちがかかるか」と強く圧力をかけた複数の人々(ある教師から聞いた話です)がこの人達だったのでしよう。

女性が発言の直後に私は「男も女もない」と反論しておきましたが、今回のX高校の早まった決定を引き起こしたのはこの人達の圧力だったように思います。そう言うことも学校はしっかり意識して欲しいものです。 繰り返し書きますが、言論の場をみんなで保障したいものです。 掲示板も有効に利用しましょう。

(いさを) 11/25 08:34 機種:「PC」

●疑問や批判も 今朝、この掲示板を見た方が批判をメールで送つてくださいました。大変参考になりました。(返事届きました?) 今後もヨロシク

(いさを) 11/23 23:37 機種:「PC」

●誰も気にしてなかった返信数:0 今日二箇所演奏してききました。まず、M区Aにあるジャズライブハウスでの催し。次に沖繩独立派主催の催し(N区役所にて)で。どちらも八重山の唄と踊りの演目に太鼓演奏で参加。折りしも竹富島では今が種子取祭の真つ最中(行きたいなあ)。今日は夜通しやっているのでしようね。

今日大勢の人に会つて近況報告などしあつたけれど(竹富出身の人も沖繩出身の人も大勢来ていた)、「航空機の不

安」や「基地の不安」を感じている人は皆無でした。

普段沖縄や琉球に触れていない人ほど『不安』が生じやすいのですね。この「距離感」をどう説明し、どう克服していくか。大変大きな課題です。(こんな風に発言している私の責任は?)

(いさを) 11/24 00:01
機種: [PC]

●春休みも近し、冬休みはなお近し

春がいいと言う声も待っています。冬も春も、を私は考えています。冬に数人から十数人、春に数百人というのもいいなあ。

那覇に住んでる知人のTさんから励ましの電話ありました! 娘さんはX高卒、今は首里で大学に通っている。二人とも今回の企画に賛同していますよ、皆さん!

(いさを) 11/25 08:56
機種: [PC]

▼返信内容1件

冬に行ったグループが、報告(文集みたいな)。写真も載せて)を作って、印刷して教室に張り(それくらいなら学校も文句言わないんじゃないかな。「旅」の宣伝は、口コミや掲示板でやることにしとき気分を盛り上げて春の企画をして行くって言うのが理想的か。みなさんどうです?

どうせやるなら楽しくやりたいですよね。

(いさを) 11/25 09:25
機種: [PC]

●冬休み、近し!

掲示板を読んだ限りでは、はじめさん、カート・コバーンさん、フーファイターさん、きむちさんの四人は「旅」積極派。

他に直接メールで賛同している人が二人います。これ六人。

そして、カメちゃんも友人Aさんは私と直接何度も話していて「当然行くつもり」派(二人は保護者も同じ考え)。

以上の八人は「積極派」かな。マチルダさん、かぜさん、保護者1さん、の三人は「賛成派」。

皆さん(今名をあげた人もそうでない人も)、冬休みに行くとしたらいつがいいか、先に掲げた「粗い案」をもとにして良いか、保護者はどう言っているか、など、書き込み(あるいはメール)で伝えて下さいね。

(発信者: いさを) 11/25 09:15
機種: [PC]

●応答願います。

※「校長どうしてるかな」に書き込んだ、金田一さん、金田二さん
そろそろ、冬休みの計画を

つめているところです。連絡を下さい。

※はじめさんのはじめたチェーンメールでこれを覗いた方も、是非一両日中に私に、あるいはこの掲示板に、冬休みの旅についての都合を、書き込んで下さい。

春休みの旅も考えつつ。

※高2生以外の人(保護者、家族、知り合い、友人、賛同者)の参加も可能だと私は考えています。

どしどし参加して下さい。(発信者: いさを) 11/25 21:14
機種: [PC]

●冬の場合の日程

X高の「年間行事計画」をみて具体的に二泊三日の日程をa~fで考えました。

- a (終業集会前の三連休なら) 22~24
- b 26~28、27~29、28~30、29~31
- c (冬休み、正月三日を含む場合) 正月三日を含む

日程
d (三学期はじめの三連休) 1月12~14
e (二月の三連休) 2月9~11
f 「三月」と「春休み中」をf日程とします。

あなたの都合をa~fの記号で伝えて下さい。できれば複数書いて。それを見て企画を進めましょう。

旅を企画する【実行委員】になる意思のある方はそれも書いて。高校生中心ですが、その家族(保護者)等も平等の関係で旅をしましょう。

これまで掲示板を読んでいただけた皆さん(高校生、保護者、その他関係者の皆さん)もよろしく。

「返信」と文章は公開されます。

「管理者へ」をクリックするか、返信をみる画面から「いさを」をクリックすれば私に直接届くはずですよ。(いさを) 11/26 08:56
機種: [PC]

●経費

12/27以前であれば、羽田-那覇の往復で3万円強くらいで可能なようです。(年末年始はぐつと高くなる)

宿泊は二泊四食で¥12000位でしょう。向こうでの交通費は1万円はいかないでしょうから、五万円台でなんとかかなりそうです。

——当然私の分は私が負担しますから、「旅行取扱料金」や「添乗員経費」はかかりませんが(旅行の保険には入る方がいいと考えています)——

保護者の方やその他家族の方の参加・協力も期待しています。とにかく早めに都合を連絡

して下さい(今初めてこの掲示板を見た方でもokですよ)

(いさを) 11/29 19:33
機種: [PC]

7 十二月(電子掲示板と)の記録

●二月三連休! 沖縄へ!
今の所、冬休み中の希望はゼロ。娘が言うには、すでに各人予定が入っているだろうとのこと。岡山への「修学旅行」が一月中旬ですからその後かな。

そこで、「音楽祭」(楽しみ!)の翌日2月9日からの三連休を利用して行きましょう。(そして、春休みにも行きましょうか。)

皆さんの返事待っています。(娘の「カメちゃん」に言ってくるのでも良いです)

(いさを) 12/17 21:38
機種: [PC]

●明日から三泊で 返信 数: 0

またまた沖縄へ行って来ます。会える人と会って、行けるところへ行って、沖縄とまた、馴染んでいきます。

さて、2月もすぐそこ。是非みなで沖縄への旅。航空券の予約(仮押さえ)したいので、私に連絡下さいね。

X高生徒中心ですが、保護

者や家族の方、この旅に興味をお持ちの方は原則okのもりです。

※気になる連休の航空運賃は往復で5万円台だそうですね。高いけどしかたないですよ。(いさを) 12/26 14:57
機種: [PC]

8 明けて2002年一月(電子掲示板と)の記録

●さて一月後にはいよいよ沖縄への旅に行きましょう。2/9-11三連休で。

年末に佐喜真美術館の館長、佐喜真道夫さんは「修学旅行中止で来れなかつた高校生の家族」が大勢来ているとのこと。

一時的に「不安」に乗せられた方、どうです、覗きに來て下さい。

(いさを) 01/05 01:23
機種: [PC]

●いつてらっしゃい
いよいよ「修学旅行」出発ですね。

もしX高の沖縄修学旅行がこの時期であつたら、例の軽率(?)な保護者達も反対できなかつたらどうと今になって思います。X高の関係者(特に旅行担当者や校長)

はどう考えているのでしょ
う。これを見ているなら、こ
こに出てくるか、私に私信
を送るがよろしい。(まだ、
いっぺんもない! こっそり
眺めているだけ?)

我が配偶者(都立N高校教
諭)は例の国土交通省と文部
科学省の企画した、特別の研
修旅行で二泊三日の沖繩行を
終えて先ほど帰宅。何の「危
険」もないことのアピール
ですね。(費用は全額国庫負
担!) N高は春に修学旅行実
施。

※この「研修」は見事に
「戦跡」無視のコースでした。
戦跡と言えそうなのは豊見城
の「海軍司令部壕」のみ!
あきれてしまいます——

※2月9-11日の沖繩「修
学旅行」まで、ひと月を切り
ました。参加を考えている
方、どしどしメールかFAX
を!

メール MLD***@nifty.
com
FAX 0424-41-2

(いさを) 01/12 01:40
機種: [PC]

●第一回の旅
2/9-11の土日、三
連休で、行きましょう!
飛行機の予約が込んでいま
す。月曜日には予約を始めま
す、至急返事を下さい。(良

い時間の便は空席がわずかで
す!) MLD***@nifty.com
まで、返事下さい。
※南部戦跡・資料館、安保
の見える丘、ガマ(アブチラ
ガマ、チビチリガマ)、佐喜
眞美術館、首里(首里城か
県立博物館)、その他希望に
よって(グスクから海を眺め
る、海辺で憩う、民謡を聴
く、他)
※費用は六万円台。海辺の
村の民宿を利用。
(第二回は春休み中を考え
ています)
(いさを) 01/19 07:53
機種: [PC]

▼返信内容2件
私もその時期に行くので
(8-11)、良かったら途中
で少しかだけ合流させてくだ
さい。(こないだ「うりず
ん」で少しかだけお話をした
satoです。
(sato) 01/21 00:
20 機種: [PC]
satoさん、初の書き
込み有り難うございます。
(satoさんは「X高関係
者以外の一市民」です。私の
知人)
が、実の所、この計画に
乗ってきた参加者は八組の高
校生2名(カメちゃんともう
一人)しか居ません(今の
所)。料金の高さと、X高校
「修学旅行」直後と言うこと
などがマイナス要因のようで

す。
昨日(日曜日)、カメちゃ
ん以外の参加予定者の保護者
と相談して、第一回の旅行実
施を三月に延ばすことにしま
した。御免なさい。
三月21-24日か、26-で計
画を立て直して、広くX高生
に呼びかけることにしまし
た。
(もう一人の保護者と共同
して、三月の旅を、まず二年
八組に呼びかけ始める予定で
す。)

よろしくご了解下さい。
satoさんにも御免な
さい、ですが、他の皆さんにも
御免なさいです。
追伸、寿、旧正月元日ラ
イブ(2/12)で私太鼓叩
きます。satoさん知っ
てますよねえ。こちらもよ
ろしく。(詳しくはhttp://
www.***.com/を御参照下
さい)
(いさを) 01/21 00:39
機種: [PC]

●三月にします!
二月三連休の旅は中止しま
す。慌てて行くよりきちんと
「宣伝」して三月に行こうと
いうことです。
X高校二年生の皆さん、岡
山の「修学旅行」どうでし
た?
引率の先生達も「付け焼き
刃」の実施でさぞかし矛盾

を体感されたことでしょう。
「修学旅行」って一体何なの
でしょうね。
こちらの旅は「修学旅行」
の果たせなかつた意義を多少
なりとも補完しつつ、新たな
意義を探る旅です。あわてず
に計画するのが良いでしょ
う、三連休は参加希望が2名
ということもあり中止し、三
月に計画します。(三月はた
とえ参加者が一名でも決行し
ますよ!)
とにかくにも、X高の修
学旅行は情けない。今回の関
西旅行では、やはり旅行委員
と教師の連絡が良くなかつた
とか(そりやそうですよ、実
質的には一ヶ月くらいでの企
画でしたから)。
さらに、聞いたところでは
次の学年の修学旅行計画も中
途半端なもの(関西方面)に
なるらしい。アンケートでは
はじめから「沖繩」が除外さ
れていたとのこと!(これは
全くもってな情けない!!)
X高校の先生達、生徒達、
チバリヨ(頑張れよ)!!
(いさを) 01/21 00:55
機種: [PC]

週間付き合いますよ!)
で、3月26-9日には必ず
実施です(三泊四日)。
費用概算は¥65000
(内訳: 飛行機往復
¥40000、レンタカー
¥40000、宿泊・食費
¥18000、見学費など
¥3000)。
日程概要
一日目(食文化、グスク見
学、ガマ体験)
・豊見城そば、玉城グス
ク、糸数アブチラガマ、他
二日目(沖繩戦)
・平和の礎、資料館、ひめ
ゆり資料館、魂魄の塔など南
部戦跡
三日目(琉球の歴史と文
化)
・工芸体験、玉泉洞の歴史
的民家の見学、首里城や県立
博物館、など
四日目(読谷の戦跡、中部
の基地、現代を考える)
・チビチリガマとシムクガ
マ、象の檻、「安保の丘」、佐
喜眞美術館、ほか、
宿泊予定
民宿新原(玉城村の静かな
海辺)
民宿「何我舎(ぬーがや)」、
(読谷村波平、知花昌一の家)
※X高二年生で参加者が責
任を持てる場合は、家族・友
人の参加も可。詳しくは電話
かFAXかメールで、連絡し
ます。

●一日づれる可能性も
3/26にクラブの予定が
入った方がいます。それでそ
の人は3/27からの参加にな
りそうです。私は早ければ3
/21か3/24あたりに那覇に
いついて、参加者を迎える
ことになるかも知れません。
その場合は3/26からの三
泊四日組、3/27からの三泊
四日組、3/27からの二泊三
日組、などがあっても十分対
応するつもりです。
まだ、航空機の席に空きは
あるようです。(それにして
も早めにお返事ください)
(いさを) 02/04 18:04
機種: [PC]

●最新の予定
3/27(水) 9時過ぎ
羽田発
3/30(土) 14時過ぎ
那覇発
の三泊四日の旅に参加する
方が高校生2名+保護者2名
(私を含む)です。(その前後
一日ずれても私は現地に対応
しますヨ)
航空券は往復で4万円を

3/26-9三泊で!
3月21-4日は、「カメ
ちゃん」の予定が23日にあつ
たことが発覚し、望み薄にな
りました(※ただし、希望者
があれば私は21日に行つて一

切ってます!

参加希望の方は、まだ間に合いますから、早めにご連絡を。

※2/22(金)夜に八組の保護者の集まりがあるので、そこでもまた宣伝するつもりです。

(いさを) — 02/20 23:44
機種: [PC]

9 三月(電子掲示板「2」の記録)

●400hits!

丁度400ヒットでした。私、管理人です。リードオフィの方、宜しかったら「ファンレター」をd****@nifty.comまで。

(いさを) — 03/07 01:32
機種: [PC]

●旅まで20日

昨日、旧知の都立高校生(X高でなくK高2年生)二名にお誘いの電話をしました(そして今faxも送りましたよ)。

カメちゃんの幼馴染み。旅の参加が増えることを願っています(楽しみ楽しみ)。宿(玉城村新原)の部屋、仮押さえしました。

※テスト終わったら参考図書読みたいでしょう、うちの本棚に沢山あるよ。
(いさを) — 03/08 00:58

機種: [PC]

●広報、読みました?

「明日あたりはきつと春、ああ」と思う間もなく冬のトンネルを抜けてしまったみたいですよ。皆さんお元気でしょか。

X高校PTA広報委員会の「X」93号「行きたかった沖繩」大変参考になりました。事前学習を各生徒が今後に生かせるといいのですが。個人的に冬に沖繩に行つた方、春沖繩へ行く方も多いのでは。

3/27-30の旅楽しみます。そしてその後についても考えていくつもりです。年度末は仕事が山積み、スケジュールもきついです!

(いさを) — 03/12 09:00
機種: [PC]

●X高生が増えるかも

妙に暖かい日でした。14日の晩に我が娘のカメちゃんの言うことには「二人男子が加わるかも」。もしそうならばX高生は男女各2名の4名だ!

皮算用にはしたくない、管理人より
(いさを) — 03/16 00:23
機種: [PC]

●急げ!

昨日、某旅行代理店に問い

合わせたところ、その代理店の確保している「団体」席は、3/30の帰りの便(那覇↓羽田)で、残りが僅か。出発時間の近い別の便と別れて乗るといふ事も、今後は起きてもきそうです。是非、一日も早い「参加」の連絡をお願い

します。出発まであと10日です。ワクワク。
(いさを) — 03/17 08:27
機種: [PC]

●急遽変更かも!

参加予定の内の一人のクラブの試合が29日に入ってしまった!

そこで、以下のような可能性が高くなりました。
【主な集団は、25日午後発28日夜帰宅。総責任者として、私はそれより早く(例えば25日朝)行つておいてレンタカーなど準備し、旅行後、参加者の一番遅い人を那覇で見送る(現時点では3/30を想定。最も遅くて4/1)】

そこで、3/25-28、26-29、3/27-30、3/28-31、3/29-4/1、など(三泊を基準に書きましたが、二・七泊でも可能ですよ)考えて、なるべく早く連絡を下さい。よろしく!

(いさを) — 03/17 21:34
機種: [PC]

●一人増えるゾ!

昨日、某旅行代理店に問い

私と高校生2名(8組)は、3/25の1550羽田発。翌3/26早朝の便で保護者1名が合流。もう一人、男子の高校生(8組以外)が3/26以降に合流、ということになります。詳しくはこれから詰めます。

3/26発のものは明日3/19には代理店に予約しなければならぬ様子です。追加で参加希望の方! タイムリミットはもう目の前です。(割引の航空券でなければまだ、大丈夫かも……)

(いさを) — 03/18 21:58
機種: [PC]

●四人で旅の始まり!

後から参加希望の一名(8組以外の男子)も3/25の同便の希望となりました。こんな間際になったのですが、幸運にも安いチケットが買えました。その代理店がその便で持っていた最後の一枚!(¥17500)ということ

で、高校生3名と私とで出発です。帰りは一人とその保護者(3/26に合流)が3/28遅い便で帰京。高校生2名が3/29に帰京。(私は沖繩に数日残ります。)

宿とレンタカーも、予約の確認に入ります。楽しみですねえ(関連の図書など読み直しているかな)。
これからの参加希望の方

へ。4/1ころまで、私は沖繩にいます! 今からでも連絡下さい。至急!

(いさを) — 03/21 08:27
機種: [PC]

●いよいよ出発

本日昼の1時頃、仙川を出ます。終業式の後です。仙川駅構内にコインロッカーあるそうです。是非利用しましょう!

では、またや。(いさを)
(いさを) — 03/25 07:44
機種: [PC]

10 春の旅の記録(カメちゃんの父親の手帳より)

三月25日(月) X高生3人(A、M、カメちゃん)と私で午後3時羽田発、7時レンタカー、8時に食事。夜霧から小雨。新原泊。

三月26日(火) 朝8時に朝食。受水走水、浜川御嶽、斎場御嶽、昼食は豊見城そば(ここから保護者一人合流)。

カメちゃん(轟壕)、ひめゆり資料館、第一外科壕、魂魄の塔、チンガート摩文仁浜。さしきの(風呂)、新原泊。ビデオ「戦場の童」「未

玉城、垣花樋川、山の茶屋、平和祈念資料館、韓国人慰霊塔、平和の礎。チビチリガマ、夜7時に何我舎。「大当」で食事。

三月28日(木) シムクガマと「象の檻」、朝食。「安保の丘」、佐喜真美術館、玉泉洞(谷)、昼食、体験、エイサー鑑賞)、那覇国際通り、19時半に空港で二人(親子)を見送る、豆腐屋食堂、新原泊。陰曆二月十五日満月、深夜に干潮の浜で風に吹かれる。夜光虫。

三月29日(金) 8時半に朝食。小雨模様、ガラビガマ、ヌママチガマ。休養していた一人も合流して浜辺の茶屋、13時半過ぎに空港、ジュシーのおにぎりを昼食とする。高校生二人を見送る。

私は四月2日に那覇からホーチミンへ、そこで三世代6人で合流(カメちゃん含む)。ベトナムとカンボジアの旅行の後、8日に那覇に戻る。玉城の知人友人、多くは工芸家や演奏家と交流の後、11日夜に帰宅。

11 四月(翌年)「電子掲示板」の記録

●沢山のイイことがありました。とても短くは書きませんが。生き物にも沢山出会いました。沖繩人に

●沢山のイイことがありました。とても短くは書きませんが。生き物にも沢山出会いました。沖繩人に

●沢山のイイことがありました。とても短くは書きませんが。生き物にも沢山出会いました。沖繩人に

も沢山会いました。参加した高校生たちは各々沢山のことを考え、感じ、学んだことでしょうか。

参加者5名のうち二人は3/28に、二人は3/29に帰京。私人は、実はついさつきの帰宅です(別の旅行とハシゴをしたので)。

この掲示板にも、追々報告を書きますが、今日の所はここまで。

応援して下さい。方々、有り難うございました。事情があつて参加できなかった方!是非、次の機会に旅をしましょう、ネ!

次回は夏休みに計画しましょうか?

(いさを) — 04/11 23 : 49
機種 : 「PC」

●会計、他

三泊四日を基本に7万円位の予定でしたが四泊になったので、7万円を超えました。

主な内訳は、航空機3万8千円、レンタカー一人当たり約6千円、宿泊は一泊6千円、昼食費、お茶代、資料館・美術館入場料など。

ガイド代は無し。知花昌一さんの民宿はシムクガマ、チビチリガマ、象の檻の案内付き。念の入ったお話を聞けました。前日に私の持つていったビデオで予習したのも良かったと思います。

佐喜眞道夫さんの説明も対話の中で深まった。私にとってまたとない、いい経験でした。

二日目の晩ちようど「戦場の童」を見ているときに、宿に大城さんが駆けつけて下さった。感謝。

(いさを) — 04/30 11 : 49
機種 : 「PC」

●HP開設!

どしどし見に来て下さい。「沖縄修学旅行」の行き先変更、すなわち「X高校の沖縄修学旅行放棄」に関する文章も載せてあります。BBSもあります。

よろしく。

http : *****.nifty.com/*****
(いさを) — 05/15 02 : 25
機種 : 「PC」

●今

皆さんご無沙汰しています。この掲示板の役割はほぼ終了した、と認識しています。そこで、ここでの発言を自分のサイトに記録として残すことを検討しています。ご意見があれば、お寄せ下さい。

http : //*****.nifty.com/***** の掲示板もご利用下さい。

(いさを(管理人)) — 01/11 09 : 14
機種 : 「PC」

シンポジウム
「先住民の20年を振り返って、そしてこれから(仮)」

12月7日(日) 13:30~18:00(予定)

参加費:1000円(資料代含む)

於:大東文化会館ホール

(東京都板橋区徳丸2-4-21) 東武東上線「東武練馬駅」北口3分

第一部「国連と先住民族—『先住民族世界会議(WCIP) 2014』報告(仮)」

報告:阿部ユボ(北海道アイヌ協会副理事長)、当真嗣清(琉球弧の先住民族会代表代行)、上村英明(市民外交センター代表、恵泉女学園大学)

第二部「先住民族の過去・現在・未来を語る(仮)」

パネリスト:阿部ユボ(同上)、宇井真紀子(写真家)、我如古朋美(琉球弧の先住民族会)、谷口滋(パウレ・ウタリの会)、当真嗣清(同上)、八幡巴絵(アイヌ民族博物館学芸員)(五十音順)

共催:先住民族の10年市民連絡会、大東文化大学苑原ゼミ

問合せ:先住民族の10年市民連絡会(TEL&FAX:03-5932-9515、E-mail:postmaster@indy10.sakura.ne.jp)

祭りは天と地を継ぐ、踊りは人と宇宙を継ぐ

第21回

チャランケ祭

2014

とき:11/1(土)2(日)

ところ:中野駅北口暫定広場

入場無料/雨天決行

ウチナンチュ
アイヌと沖縄人の出会いからはじまった祭

主催:チャランケ祭実行委員会

後援:中野区

「共産主義運動年誌」第15号発刊

今年も、また「共産主義運動年誌」を皆さんのお手元にお届けします。

安倍政権のなりふり構わず戦争のできる国造りへ向けての暴走が続いており、昨年末以来、「特定秘密保護法」「国家安全保障会議」の創設、武器輸出三原則の撤廃に加え、この7月1日には「集団的自衛権」容認の閣議決定にまで至っています。

しかし、2011年3月11日の東日本大震災に続く、福島第一原発の事故は、すでに3年半が経過しているものの、いまだに汚染水漏れは続いており、安倍晋三が全世界に向けて「汚染水の影響は原発港湾内で完全にブロックされており」「状況はコントロールされている」と、全く根拠のない「安全宣言」を行い、2020年のオリンピック招致を行ったものの、周辺への膨大な放射能の拡散によって、被害は国境を超え、世界に広がりつつあります。この機に及んでまでも、安倍は原発輸出とともに、薩摩川内原発をはじめとして再稼働を行おうとしています。この動きに対しては、すでに3年にわたって経産省前に設置されたテントを中心として、毎週の官邸前抗議、全国の原発

立地地域において、再稼働を決して許さない闘いが連綿と繰り返されてきています。

今回、本誌に寄せられた論考も、脱原発の運動はもとより、今焦点となっている沖縄の辺野古新基地建設を巡る闘いや、安倍の戦争国家化や労働者に対する規制緩和、長時間労働、非正規化の問題、さらにはグローバルイズム・世界資本主義を巡る理論的な論考も含まれています。

是非多くの皆さんに、本誌を手にとってお読みいただきたく思います。

また、「共産主義運動年誌」第15号発刊記念討論集会も予定しています。

■「共産主義運動年誌」第15号発刊記念討論集会

一、日時 2014年11月29日(土) 13:00より

一、場所 目黒区民センター

■取り扱い

「共産主義運動年誌」編集会議

T171-0021 豊島区

西池袋2-38-6 第一後

藤ビル4F

豊島文化社

Fax

03-3981-2887

定価 1000円

読書I

前田裕悟が語る『大阪中電と左翼労働運動の軌跡』

著者 前田裕悟
聞き手 江藤正修
同時代社・2014年4月15日発行
羽山 太郎

目次 …… 主な内容

- 第一部 党と革命、大阪中電の拠点化(1950年〜1969年)
- 第二部 関西から全国へ——新左翼労働運動の広がり(1970年〜1980年)
- 第三部 労働戦線の再編と民営化の中で(1981年〜2014年)
- 第四部 座談会 全電通労働運動と大阪中電の時代
- 他
- 第五部 資料編

シビックホールでの出版パーティーにも出席しお歴々の祝辞を拝聴もしている。にもかかわらず今日(8月31日)まで、その目次さえ見ることがはなかつた。そうこうしているうちに、杉本昭典さんのご本が送付されてきた。先ずは逆ヨミで、前田裕悟略歴、そして、第五部の資料編、堂島川畔の青春裸像／

生塚也、福富健、新開純也
2014・9・1読みながらのメモ、抜き書き
巻末から読み始め、第4部

座談会を読み終えた。興味のあるページからまた読み出す。第一部、第三章、六〇年安保闘争と共産党神話の崩壊、新左翼の誕生P24第四章ベトナム反戦闘争の広がりの中でP58

この二章は、60年安保闘争前後と1969年10月21日大阪中央電信電話局(大阪中電)「マッセン・ストライキ」が繰り返して語られている。

前田裕悟さんが、あるいは「座談会」にて発言した人間にとつて、党・ブント、そして、大阪中電「マッセン・ストライキ」をそれぞれの人生というスパンと大衆闘争・階級闘争の歴史の中でどのよう

に位置づいているのか、位置づけているか良くわかる。また、私にとつても「関西ブント」とは何か、「関西ブント」にとつての「党観」について知る良い機会として第一部 第四部はある。一日もあれば十分読み下せると始

発見する楽しみもでてくる。第一部注は、聞き手で編集者の江藤正彦さんのお顔と語り口が目につぶ。

同時に江藤正彦さんの歴史認識・歴史観もまた、各各章のリード・注を含めてよく理解できるものである。

解できると言うものではなく、自らの経験に重なる想いをもって読んだと言うことである。読後、コウフンさめやらぬまま、「読書感想」をしたためて、「阪神合同労働組合」気付、前田裕悟さん、杉本昭典さんにお礼のことばを送付した。

読書II

『時代に抗するある「活動者」の戦後期』

著者 杉本昭典
編集 市田良彦・黒川伊織
伊織
日発行 榊原社・2014年6月28日発行

『を先ず読書』を先ず読書
前田さんのはなぜ、アトマワシになつたか、あまりにも身近、知っているつもり、しかも、現在に至るも「日常」的に指導をおおいでいる、と言つた関係で読書の機会を免

8月末日(31日)改めて、読み返している。

- 目次
- 1 17才の共産黨員
- 2 軍国小年Zの時代
- 3 呉の志願水兵
- 4 労働組合を知る——戦後の混乱期
- 5 党と労働組合の軋み——扶桑摘発闘争、阪神教育闘争
- 6 50年分裂へ
- 7 国際派の迷走と党への「復帰」——『Y』の時代
- 8 軍事路線の党と労働者解放同盟
- あとがき

とにか、『時代に抗する』ある「活動者」の戦後期』が7月初旬、前田裕悟さん名で送付されてきた。開封直後から一気に読んだ。特に、50年分裂前後の所感派と国際派の問題、とりわけ「武装闘争」に関わる部分はコウフンして読んだ。吾が身に重ねて読んだ。

1969年から1975年被逮捕までの数年間の経験は、杉本昭典さんがふれている日本共産党の「軍事路線」『Y』の時代は身につまされるものがある。その渦中での著者・杉本昭典さんの位置、時代状況と党内の政治的雰囲気について、不十分ながら理解できるものである。単に理

解題 尼崎における日本共産党
『50年分裂』の展開
黒川 伊織
杉本昭典著『時代に抗す

ここに、杉本昭典さんの思想・哲学が開陳されている。単行本となるような哲学

解題 尼崎における日本共産党
『50年分裂』の展開
黒川 伊織
杉本昭典著『時代に抗す

解題 尼崎における日本共産党
『50年分裂』の展開
黒川 伊織
杉本昭典著『時代に抗す

ここに、杉本昭典さんの思想・哲学が開陳されている。単行本となるような哲学

書としてではなく、活動者の生き様として、その思想・哲学は奈辺にありあつたのかと言ふことである。赤旗・アカハタに何本の論文を書いたかではなく、たたかいの経験において示してきたと言ふこと。

市田良彦さん自身の理論「革命論」は難解である。市田良彦さんの著作を何冊か所蔵してはいるがいまだ、読破していない。ムズカシすぎる。しかし、杉本昭典さんのこの著作に関わる文章とその構成は実に解りやすい。

黒川伊織さんの視線もまた、現場に注がれていると感じた。「おわりに」の次の段落を記載して『時代に抗す

ある「活動者」の戦後期』読書感想とする。「そのようにして戦前・戦中・戦後の運動をまるごと生きた人物として、矢野笹雄(1909〜81年、64年離党)の名をあげておこう。

で行動をともした杉本氏であった(矢野笹雄遺稿集編集委員会1990)。その遺稿集によると、30年はじめて検挙された矢野は、旋盤工として働きながら神戸で人民戦線運動を担い、36年(第一次人民戦線事件)・40年(阪神地方党再建グループ事件)・43年(野間宏検挙に連座)の三

度の検挙を受けながら、戦後は党再建を担い、『50年分裂』では国際派の立場にたつた。戦前からの日本の革命運動の歩み―しかも、『公式党史』からは捨象される歩み―をこのようなかたちで受けついでこられた杉本氏は、本書によつて、自らのご経験を次の世代に託された。」

「ペウレ・ウタリの会」50周年・阿寒交流会に参加

佐藤 秋雄

「ペウレ・ウタリの会」は、1964年阿寒町阿寒湖畔・ホテル街のはずれ、ボツケ手前の喫茶店「はちや」で発足した、とのことでした。

阿寒アイヌ協会とペウレ・ウタリの会の交流は、9月5日(金)〜9月7日(日)まで2泊3日の旅程でした。

30分〜16時30分、ペウレ・ウタリの会、阿寒アイヌ協会によるウポポ・リムセ交流・発表会、18時より夕食・交流会と続きました。

「ペウレ・ウタリの会」第一期の方々は、1964年当時と阿寒町の変つたところ、変らないところを確かめるように散策しておられました。

この「ペウレ・ウタリの会」は、夏は阿寒で冬は関東で友好・親交を重ねて50年。

も抗議の声をあげ、道選出の国会議員五十嵐広三を始め、自民党議員も異議申し立て抗議に賛同せざるを得なかつた。なかでも社会党の五十嵐広三代議士は精力的に国会内で「アイヌ新法」の必要性を唱えていた。1984年北海道ウタリ協会は総会決議をもつて「アイヌ新法草案」を決定していた。その直後の中曾根康弘の発言であつた。

9月6日、9時より緑町生活館(澤井民芸店の真ウシロ)にて、「ペウレ・ウタリの会50年を語るシンポジウム」、13時から参加者による意見交換と交流の集い、15時

関東を中心とする「ペウレ・ウタリの会」会員総勢30名は、9月5日〜9月7日とアイヌ・モシリ(全道)の会員と交流してきた。阿寒の人々にとつて土曜日・日曜日とはとても忙しいにもかかわらず、心づくしの手料理(アイヌ料理)の数々でもてなしていた

「ペウレ・ウタリの会」第1期の方々は、1964年当時と阿寒町の変つたところ、変らないところを確かめるように散策しておられました。

1964年20才の人も、70才となりますが、とてもイキイキとしておられた。当時の名前を1人1人覚えておられ、そして、ぜひ、あの喫茶店に行つてみたいと。

私が「ペウレ・ウタリの会」会員になつたのは、1986年中曾根康弘の「単一族」発言が、関東在住のアイヌを中心に抗議活動が活発に行われた。当時のウタリ協会

私がアイヌに出会つたのは、1980年9月根室半島、ノツカマップの丘で、17

「若い仲間・ペウレ・ウタリの会」はこうしてつくられた

「仲間の会」をつくらうと、思い出とするのをおしんで、

「若い仲間・ペウレ・ウタリの会」はこうしてつくられた

探し当てた。喫茶店は民芸店に、現在は休業中とのこと

私が「ペウレ・ウタリの会」会員になつたのは、1986年中曾根康弘の「単一族」発言が、関東在住のアイヌを中心に抗議活動が活発に行われた。当時のウタリ協会

私がアイヌに出会つたのは、1980年9月根室半島、ノツカマップの丘で、17

89年(寛政元年)5月「クナシリ・メナシアイヌの武装蜂起」を慰霊すると同時に37名のアイヌの勇者を虐殺したシヤモ・飛騨屋久兵衛・松前藩への糾弾の儀式(イチャルパ)に参加した。

以上①「交流会」について、②ペウレ・ウタリの会について、③ペウレ・ウタリの会への入会の直接の動機、④最初のアイヌとの出会いについてのべました。

ペウレ・ウタリの会をまったく知らない方にも知っていただくため、少々長くなりますが読みすすんで下さい。

このノッカマップイチャルパは、9月末の土日に行われる。そして午前0時に執りこなされるケウタンケをもつて一通りの儀式を終える。このケウタンケのあとの交流会は忘れることのできないものとなっている。1789年、クナシリからラウス、メモロ一帯のアイヌの蜂起とその無念さは、言葉ではなく、この無言のケウタンケに参加するのみで理解しうるであろう。9月末の午前0時呑んでもヨワヌ酒、それは寒さのみではないであろう。400年前を想い起すのである。

今年のノッカマップ・イチャルパ(供養祭)開催要項趣旨全文

『第41回ノッカマップ・イ

チャルパ(供養祭)開催要項趣旨 1789年(寛政元年)5月「クナシリ・メナシアイヌの戦い」はアイヌの自由の天地略奪を目的とした和人の武力による抑圧への抵抗であったが、アイヌ民族の永久の平和を願って蜂起し、無念の最後を遂げた37名の民族の祖先を手厚く供養するものであります。』

『ペウレ・ウタリ』

——ペウレ・ウタリの会三〇年の軌跡——

編集 ペウレ・ウタリの会編集委員会
発行 一九九八年三月三十一日
制作 現代企画室

二〇一四年九月5日〜7日の「交流会」とは阿寒町アイヌ協会との交流です。この交流会は「ペウレ・ウタリの会」発足から五〇年を記念した一大イベント・行事です。何故、ペウレ・ウタリ会と阿寒町アイヌ協会なのか？ 私の一知半解の知ったかぶりよりは、『ペウレ・ウタリの会三〇年の軌跡』という単行本があります。この単行本(三二〇ページ強)は、非売品であるため数十名の会員の名前や生活や人それぞれの歩みが座談会や会報への執筆で

つづられています。したがって、人名の一切は伏字とします。この単行本で、ペウレ・ウタリの会発足の契機、ペウレ・ウタリの会という名称のいわれと目的が載せてあります。〈何故 阿寒町なのか〉

『ペウレ・ウタリ』
目次
「ペウレ・ウタリ」発刊にあたって
第一章 ペウレ・ウタリを語る
座談会 「ペウレ・ウタリの会とは……」
第二章 第一期(一九六四—一九六九年)
第三章 調査旅行報告・紀行文
第四章 (一九七五)

第五章 資料編
あとがき
目次にそって、抜き書きを掲載する。

『ペウレ・ウタリ』発刊にあたって
一九六四年夏、阿寒湖に働くアイヌと和人の青年の友情から出発したペウレ・ウタリの会の会報が発行されたのは、その年の十一月。創刊号は、『ペウレ・ウタリと

は『若い仲間』という意味である。』という言葉で始まり、会則の前文に「この会は昭和三九年夏、阿寒湖畔アイヌ部落で共に働いた若い仲間の友情をもとにして発足したものである。我々が歴史を顧みるに、愛すべき北海道は和人とアイヌの圧制と闘争の場であった。その残滓は現在に及び、なお偏見と誤解の存在を認めざるを得ない。我々はこの現状に怒りと悲しみを覚え、同じ若い仲間として、日本人として、人間として集まり、その互いの心の壁を取り除き、理解し親睦を深めると同時に、社会に根強く残る無知と偏見を取り除くことに努力し、互いが心を傷つけ合うことのない住みよい社会を築こうとするものである。」と記しています。

以来、三四年間ペウレ・ウタリの会は、アイヌと和人の交流・親睦の場でありアイヌ民族に対する不当な差別とたたかい、アイヌ民族文化を学ぶ活動を続けてきました。会報『ペウレ・ウタリ』には、その時々での会員の声や調査旅行の報告、教育研究会などの参加報告などが掲載され、三〇余年の活動とアイヌ民族をめぐる社会的な状況に対してアイヌ・和人の会員がどのように考え行動してきたかを

本書が、私たちペウレ・ウタリの会の財産であり、今後の活動の糧として生かされると同時に、先住民族であるアイヌ民族が民族としての誇りをもつてその文化を享受し、先住権が保障される社会をつくるために少しでも役立てば幸いです。

ペウレ・ウタリの会の活動は、一九六四年の発足から活動の中心を担っていた和人の学生が就職などにより活動が停滞した一九六九年までの第一期と、東京ウタリ会(現在の関東ウタリ会の前身)の結成に伴って再建された一九七五年から現在に至る第二期に分けられます。

本書は、昨年十一月に行なった座談会および本書の刊行に当たって寄稿していただいた文章で構成する第一章、I期の会報の再録を中心に編集した第二章、I期の会報から旅行記・調査報告をまとめた第三章、II期の会報を再録した第四章、そして活動の記録・資料からなる第五章によつて構成されています。

第一章は、三時間に及ぶ座談会で「ペウレ・ウタリの会の思い出」「アイヌ民族の今と私(現在のアイヌ民族をめぐる状況やあなたの活動について)」「ペウレ・ウタリの会に一言(会のこれからの活動

「若い仲間」という意味である。』という言葉で始まり、会則の前文に「この会は昭和三九年夏、阿寒湖畔アイヌ部落で共に働いた若い仲間の友情をもとにして発足したものである。我々が歴史を顧みるに、愛すべき北海道は和人とアイヌの圧制と闘争の場であった。その残滓は現在に及び、なお偏見と誤解の存在を認めざるを得ない。我々はこの現状に怒りと悲しみを覚え、同じ若い仲間として、日本人として、人間として集まり、その互いの心の壁を取り除き、理解し親睦を深めると同時に、社会に根強く残る無知と偏見を取り除くことに努力し、互いが心を傷つけ合うことのない住みよい社会を築こうとするものである。」と記しています。

以来、三四年間ペウレ・ウタリの会は、アイヌと和人の交流・親睦の場でありアイヌ民族に対する不当な差別とたたかい、アイヌ民族文化を学ぶ活動を続けてきました。会報『ペウレ・ウタリ』には、その時々での会員の声や調査旅行の報告、教育研究会などの参加報告などが掲載され、三〇余年の活動とアイヌ民族をめぐる社会的な状況に対してアイヌ・和人の会員がどのように考え行動してきたかを

本書が、私たちペウレ・ウタリの会の財産であり、今後の活動の糧として生かされると同時に、先住民族であるアイヌ民族が民族としての誇りをもつてその文化を享受し、先住権が保障される社会をつくるために少しでも役立てば幸いです。

夏の一ヶ月は短く思われまして、しかしながらこの短い期間に、阿寒湖畔のあるいはアイヌ部落で結ばれた友情の若い芽は、「ペウレ・ウタリの会」という形でこれから花開き、実を結ぼうと無限の可能性を秘めた将来へ向かつてのびているのです。そして私達はこの会の会報である「ペウレ・ウタリ」の創刊号を発行することによつて、この偶然によつて芽生えた友情の若芽を大切に育て、その友情の下、お互いの発展を促そうと、今ここに名実ともにその第一歩を記したのであります。

友情は一時の感情にまかせて燃焼させる熱情の炎ではありません。それは静に徐々にしかしながら消えることなく燃焼させる久遠の炎ではないでしょうか。ですから私達の「ペウレ・ウタリの会」の目的にとつては、若芽を育てる大地から飛び跳ねることは、必要ありません。静かに落ち着いた、根深い、息の長い

「若い仲間」という意味である。』という言葉で始まり、会則の前文に「この会は昭和三九年夏、阿寒湖畔アイヌ部落で共に働いた若い仲間の友情をもとにして発足したものである。我々が歴史を顧みるに、愛すべき北海道は和人とアイヌの圧制と闘争の場であった。その残滓は現在に及び、なお偏見と誤解の存在を認めざるを得ない。我々はこの現状に怒りと悲しみを覚え、同じ若い仲間として、日本人として、人間として集まり、その互いの心の壁を取り除き、理解し親睦を深めると同時に、社会に根強く残る無知と偏見を取り除くことに努力し、互いが心を傷つけ合うことのない住みよい社会を築こうとするものである。」と記しています。

以来、三四年間ペウレ・ウタリの会は、アイヌと和人の交流・親睦の場でありアイヌ民族に対する不当な差別とたたかい、アイヌ民族文化を学ぶ活動を続けてきました。会報『ペウレ・ウタリ』には、その時々での会員の声や調査旅行の報告、教育研究会などの参加報告などが掲載され、三〇余年の活動とアイヌ民族をめぐる社会的な状況に対してアイヌ・和人の会員がどのように考え行動してきたかを

「ペウレ・ウタリの会」にしてゆきたいものです。静かに行くものは健やかに行く。健やかに行くものは遠くに行く。

座談会「ペウレ・ウタリの会とは……」

まず×××さんに、その頃の思い出をお願いします。

×× えー本当にあの、思い出というか……三三年間も「おめでとうございます」って言っていたですね。よくぞまあこれまで支えてくれたものだ。僕は当初からの会員ですけど、すごい無責任な会員で、ペウレ・ウタリの会をつ

てきました。その後細々ながら支えてくれた会員一人ひとりに、本当に心からお礼を言いたいと思います。僕が一七歳のときに、阿寒湖の民芸品売り場に東京から来た学生がいて「ただの友だちで終わらすのではもったいないな」ということで会をつくりました。

行くにしても、そこから始まるということが一番思い出に残っています。今こうやってみると、やっぱりペウレ・ウタリっていうのは、始まりが親睦の会であつたと。それで今も残っているんだらうと思

います。阿寒湖っていうのは強くて。それで、気をよくして学生さんたちと友だちになつて、いつぺんに気持ちも広くなつて。あの頃は「イコ

うん。再開したときの会長が、××ちゃん。××ちゃんに子どもが産まれるついでうんで、私になつて。私に子どもが産まれるついでうんで(笑)、××さんになつたの。そういうことがあつて、草創期のペウレ・ウタリはウタリ

が多くてすつとくうらやましいんだけど、「もう一度始めよう」っていうときに、寄つてきたのはシヤモぼつかり

だからペウレ・ウタリの会つていうのはね僕にとつてみれば申し訳ないんだけど、自分のためにやつてるつていうかね、そういう感じがするんですよ。

口」という喫茶店というかスナックみたいのがあつて、夜になるとね、その連中

で行つてダンスを踊つたりしてね。次の日の朝のことも考

えないで(笑)、遅くまでダンス踊つて。そういう中からこの会が発したという

か、そのときのウタリ*は×××××さん、×××××さん、それから諏訪恵美子さん、×××××さんとかね。その人たちが始まつて。で、みんなまあ結婚をして、それぞれ主婦になつてからは生活もあるし、やつぱりどうして

会のほうはあとになつていつたんだと思うんだけど。ただみんな会則は二の次だつたと思うんですよ。なんか今までなかつた親しさがあつて、東京へ出てきたら知らないところへ連れて行つてくれたり

てね。次の日の朝のことも考

えないで(笑)、遅くまでダンス踊つて。そういう中からこの会が発したという

か、そのときのウタリ*は×××××さん、×××××さん、それから諏訪恵美子さん、×××××さんとかね。その人たちが始まつて。で、みんなまあ結婚をして、それぞれ主婦になつてからは生活もあるし、やつぱりどうして

会をのぼつて、七五年の九月二七日発行の会報に新しい会則(案)が載つて

のね。で、「入会希望者は二人以上の会員の紹介が要ること」と「手続きをすること」になつたのね。

×× その頃から厳しくなつた。

七〇年の室蘭の道民教のときに「シヤクシヤインの設立趣意書」が静内の観光協会の名でばらまかれて、それで私たちが怒つたじゃない。なんでアイヌの英雄をさ……。あの当時、北海道一〇〇年、北海道一〇〇年つてあちこちの町でやつてたじゃない。それ

に比べて静内には観光の目玉がない。だからシヤクシヤイン像を建てようというのが設立趣意書だつたの。観光のために商工会議所が音頭をとつて、しかもウタリ協会*がね。誇りがあれば、そんなことに同調できないわけだしよ。英雄を観光のために利用する。しかも、アイヌの考え方からいえばね、銅像なんて作らないはずでしょう。

アイヌとシヤモと、友情と亀裂……

×× いろんな活動をやつてきて、それぞれ自分にとつてのペウレ・ウタリの会というイメージがあると思うんですけど。僕は、北海道を旅行して、そこではじめてアイヌの存在とペウレ・ウタリの会の存在を知つて、入つたときはもうアイヌだけになつてたけど(笑)。何かしたかなあと思うのは、……るつていうことと、地域を超えて、生活を通して、年齢の上下も、差別の度合いも、いろいろ自分の目で見る

×× 厳しかったというのとじゃなくて、北海道でなかつたものが、その場でききなりだから。そのとき、アイヌでよかつた、ということ

がなかつた(笑)。マイナスはあつてもプラスはなかつた。それで、私が悶々としていたときにね、ペウレの存在を知つて、入つたときはもうアイヌだけになつてたけど(笑)。何かしたかなあと思うのは、……るつていうことと、地域を超えて、生活を通して、年齢の上下も、差別の度合いも、いろいろ自分の目で見る

×× 私にとつてペウレは、やつぱり青春だつたんですよ。農村地帯だから、小さいときからアイヌということ……、小学校にあがつた時からいじめられて、今の子どもたちだつたら自殺するかもしれないぐらいいじめられて、それでも我慢して学校に行かされて。

私が小さい頃から若い頃に掛けて「滅びゆく民族」って言われていたんです。アイヌは。今はアイヌのことを北海道でも一生懸命やるようになって、「滅びゆく民族」なんてうっかり言つたら大変だけど、私が小さい頃はそう言われてたんですよ。それで、テレビでバチエラー八重子*の詩を見て、「ふみにじられしウタリの名 誰しかこ

れを取りかえすべき」という

×× 厳しかったというのとじゃなくて、北海道でなかつたものが、その場でききなりだから。そのとき、アイヌでよかつた、ということ

がなかつた(笑)。マイナスはあつてもプラスはなかつた。それで、私が悶々としていたときにね、ペウレの存在を知つて、入つたときはもうアイヌだけになつてたけど(笑)。何かしたかなあと思うのは、……るつていうことと、地域を超えて、生活を通して、年齢の上下も、差別の度合いも、いろいろ自分の目で見る

×× 私にとつてペウレは、やつぱり青春だつたんですよ。農村地帯だから、小さいときからアイヌということ……、小学校にあがつた時からいじめられて、今の子どもたちだつたら自殺するかもしれないぐらいいじめられて、それでも我慢して学校に行かされて。

私が小さい頃から若い頃に掛けて「滅びゆく民族」って言われていたんです。アイヌは。今はアイヌのことを北海道でも一生懸命やるようになって、「滅びゆく民族」なんてうっかり言つたら大変だけど、私が小さい頃はそう言われてたんですよ。それで、テレビでバチエラー八重子*の詩を見て、「ふみにじられしウタリの名 誰しかこ

れを取りかえすべき」という

×× 厳しかったというのとじゃなくて、北海道でなかつたものが、その場でききなりだから。そのとき、アイヌでよかつた、ということ

がなかつた(笑)。マイナスはあつてもプラスはなかつた。それで、私が悶々としていたときにね、ペウレの存在を知つて、入つたときはもうアイヌだけになつてたけど(笑)。何かしたかなあと思うのは、……るつていうことと、地域を超えて、生活を通して、年齢の上下も、差別の度合いも、いろいろ自分の目で見る

×× 私にとつてペウレは、やつぱり青春だつたんですよ。農村地帯だから、小さいときからアイヌということ……、小学校にあがつた時からいじめられて、今の子どもたちだつたら自殺するかもしれないぐらいいじめられて、それでも我慢して学校に行かされて。

私が小さい頃から若い頃に掛けて「滅びゆく民族」って言われていたんです。アイヌは。今はアイヌのことを北海道でも一生懸命やるようになって、「滅びゆく民族」なんてうっかり言つたら大変だけど、私が小さい頃はそう言われてたんですよ。それで、テレビでバチエラー八重子*の詩を見て、「ふみにじられしウタリの名 誰しかこ

れを取りかえすべき」という

×× 厳しかったというのとじゃなくて、北海道でなかつたものが、その場でききなりだから。そのとき、アイヌでよかつた、ということ

がなかつた(笑)。マイナスはあつてもプラスはなかつた。それで、私が悶々としていたときにね、ペウレの存在を知つて、入つたときはもうアイヌだけになつてたけど(笑)。何かしたかなあと思うのは、……るつていうことと、地域を超えて、生活を通して、年齢の上下も、差別の度合いも、いろいろ自分の目で見る

×× 私にとつてペウレは、やつぱり青春だつたんですよ。農村地帯だから、小さいときからアイヌということ……、小学校にあがつた時からいじめられて、今の子どもたちだつたら自殺するかもしれないぐらいいじめられて、それでも我慢して学校に行かされて。

私が小さい頃から若い頃に掛けて「滅びゆく民族」って言われていたんです。アイヌは。今はアイヌのことを北海道でも一生懸命やるようになって、「滅びゆく民族」なんてうっかり言つたら大変だけど、私が小さい頃はそう言われてたんですよ。それで、テレビでバチエラー八重子*の詩を見て、「ふみにじられしウタリの名 誰しかこ

れを取りかえすべき」という

×× 厳しかったというのとじゃなくて、北海道でなかつたものが、その場でききなりだから。そのとき、アイヌでよかつた、ということ

がなかつた(笑)。マイナスはあつてもプラスはなかつた。それで、私が悶々としていたときにね、ペウレの存在を知つて、入つたときはもうアイヌだけになつてたけど(笑)。何かしたかなあと思うのは、……るつていうことと、地域を超えて、生活を通して、年齢の上下も、差別の度合いも、いろいろ自分の目で見る

×× 私にとつてペウレは、やつぱり青春だつたんですよ。農村地帯だから、小さいときからアイヌということ……、小学校にあがつた時からいじめられて、今の子どもたちだつたら自殺するかもしれないぐらいいじめられて、それでも我慢して学校に行かされて。

私が小さい頃から若い頃に掛けて「滅びゆく民族」って言われていたんです。アイヌは。今はアイヌのことを北海道でも一生懸命やるようになって、「滅びゆく民族」なんてうっかり言つたら大変だけど、私が小さい頃はそう言われてたんですよ。それで、テレビでバチエラー八重子*の詩を見て、「ふみにじられしウタリの名 誰しかこ

れを取りかえすべき」という

×× 厳しかったというのとじゃなくて、北海道でなかつたものが、その場でききなりだから。そのとき、アイヌでよかつた、ということ

がなかつた(笑)。マイナスはあつてもプラスはなかつた。それで、私が悶々としていたときにね、ペウレの存在を知つて、入つたときはもうアイヌだけになつてたけど(笑)。何かしたかなあと思うのは、……るつていうことと、地域を超えて、生活を通して、年齢の上下も、差別の度合いも、いろいろ自分の目で見る

×× 私にとつてペウレは、やつぱり青春だつたんですよ。農村地帯だから、小さいときからアイヌということ……、小学校にあがつた時からいじめられて、今の子どもたちだつたら自殺するかもしれないぐらいいじめられて、それでも我慢して学校に行かされて。

私が小さい頃から若い頃に掛けて「滅びゆく民族」って言われていたんです。アイヌは。今はアイヌのことを北海道でも一生懸命やるようになって、「滅びゆく民族」なんてうっかり言つたら大変だけど、私が小さい頃はそう言われてたんですよ。それで、テレビでバチエラー八重子*の詩を見て、「ふみにじられしウタリの名 誰しかこ

れを取りかえすべき」という

×× 厳しかったというのとじゃなくて、北海道でなかつたものが、その場でききなりだから。そのとき、アイヌでよかつた、ということ

がなかつた(笑)。マイナスはあつてもプラスはなかつた。それで、私が悶々としていたときにね、ペウレの存在を知つて、入つたときはもうアイヌだけになつてたけど(笑)。何かしたかなあと思うのは、……るつていうことと、地域を超えて、生活を通して、年齢の上下も、差別の度合いも、いろいろ自分の目で見る

×× 私にとつてペウレは、やつぱり青春だつたんですよ。農村地帯だから、小さいときからアイヌということ……、小学校にあがつた時からいじめられて、今の子どもたちだつたら自殺するかもしれないぐらいいじめられて、それでも我慢して学校に行かされて。

私が小さい頃から若い頃に掛けて「滅びゆく民族」って言われていたんです。アイヌは。今はアイヌのことを北海道でも一生懸命やるようになって、「滅びゆく民族」なんてうっかり言つたら大変だけど、私が小さい頃はそう言われてたんですよ。それで、テレビでバチエラー八重子*の詩を見て、「ふみにじられしウタリの名 誰しかこ

れを取りかえすべき」という

のが、すつごく心にひっかかっている。それでペウレ・ウタリを知って、すぐ入った。しよ。ペウレ・ウタリに行くと言えりし、勉強もできるし、仲間もいるし、シャモの会員がたくさんいたけど宗教とか政治とか一切関係ない、人間対人間の仲間だから変な駆け引きもないし、本当に心の通じ合う仲間だったの、みんながね。だから、私の青春は素晴らしかったなあと、今でも思う。今のうちの子どもたちの青春みてたら、何か情けないなあと思うくらい、私は素晴らしい青春を送ったなあと。

パチエラー八重子(二八八四〜一九六二)伊達市有珠町出身。英人宣教師ジョン・パチエラーの養女となる。一九三一年、歌集『若きウタリに』を東京堂より上梓。復刻版『若きウタリに』(北海道編集センター、一九七四年刊)。

ペウレ・ウタリは東京にいる人たちが中心にやっていた。阿寒湖にいて、手紙の交換やたまに旅行に来たときに交流するとか、その程度しかできないんですけど……。東京の実態も全然わからないけど……。シャモの人でアイヌの

ことを何か一生懸命やりたいという人がいても、ペウレ・ウタリのような会ってほかにないでしょ。アイヌだったらペウレ・ウタリでなくても、ウタリ協会の東京支部をつくらね。そのほうが気が休まるんだつたらそれでいいだろうし。シャモの人知らない人が多いいけど……。アイヌと一緒に本当に真剣に、宗教とか政治とか関係なく、ただ本当に人間としてアイヌと付き合いたいという人がいたら、やっぱり私たちも一生付き合いたいと思います。

×× 俺にとつてペウレ・ウタリは素晴らしかったしね。これからどうするかというのね、みんなの意見も聞かないといけないし、いろいろ状況も知らないといけないし、これからどうするかをみんな話合つて。俺はやっぱりなくすことに関しては……これだけのもの(目の前に並べてある会報のバックナンバー)が残ってるんだから。これから先、これだけのものができるといつたら、できないかもしれない。けど実績というものがあつて、です。これから勉強していつてもいいし、勉強する機会もあるだろうし。会報は一

号からもう一度読み直さないと頭に残ってないし、自分で何を書いたのかも定かでないし(笑)。素晴らしい会報があるから、もう一回勉強したいね。なくすとか、これからどうするのかわからないのは、これから皆さんの意見を十分に聞いて。

アイヌ文化をめぐる変化や悩み
この年になつて先輩たちがだんだん亡くなる人が多くなつて、一つの悩みがあらますね。やっぱり歌を歌う人が少なくなつてきているということですね。フチ*のようにな、少しでもフチが歌つたように歌いたいという人も少なくなつてきている。踊る人も振り付けとか踊り内容とかね……フチのように踊れる人は少ない。そういう悩みが出てきているね。これは他の地区でも同じでね。踊つてる人にな、「阿寒はどうしてますか」と逆に聞かれるのね。ということは、やっぱりそれが同じ子どもたちに踊りを教え、育てていくこと、なおかつ自分の資質をいいものにしていくつてことを目標にしています。これは歌にしても踊りにしても大きな課題だと思つてますね。

文化振興法「アイヌ文化の進興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律」(一九九七年施行)。通称「アイヌ文化振興法」または「アイヌ新法」と呼ばれている。北海道ウタリ協会案(一九八四年)が先任権を柱に①アイヌ差別の絶滅、②屈辱的地位回復のための国政・地方政治への参加、③教育文化の振興、④経済的自立の促進を主張していたのに対し、新しい法律は「文化」と「伝統」に限定したものになつてしまつた。

アイヌ文化振興法とアイヌの将来……
×× 私の場合は、個人的にはペウレがあつて、ヤイユーカーがあつて、生活相談員もやつて。その中で自分がアイヌの血を引いて、アイヌというものを何も持つてなかつた悔しさがあつて

……。子どもを産んだときに、それを子どもに伝えたという思いが大きくなつた。それで自分がアイヌになることに必死になつて、そのときに一番大きなものを与えてくれたのがエカシとフチだった。気がついたら私もかなりの年で、私が教えてもらったものを、私が受け継いだものを、「ヤイユーカーの森」で伝えたい。それは形ではなくて誇りとか優しさとか。本当は「アイヌだけに」と思つただけで、「アイヌだけ」と言つたら、結局、あまり来ないでしょう。やっぱり九〇%はシャモですよ。主にやつてるのはキャンプ。これもシャモが八〇%くらいかな。それでも続けて、直接アイヌからアイヌへ渡すものと、アイヌからシャモへ……。シャモに渡すということもやつておくと、この先アイヌの人がシャモから受け継ぐことができるんじゃないかと。

政治的権利の欠落・文化に限定
例*①北方諸島・千島列島の占有権
②漁業権、山林入会権
③総じて、自治・自決権
④そして、なによりも「民族議席(国・自治体・公共団体のすべてにおいて)」
⑤奪われし自然を奪い返す

ペウレ・ウタリも今の言葉で「アイヌとシャモの共生」と言つてるけど、それは言葉はきれいだけど、まだまだそんな近寄つた段階までは、生活だつてもすごい格差があるし……。人間として違いを認め合うということ。「ヤイユーカーの森」の中でやつて、ペウレも将来的にはそれ

「アイヌ新法」は、ほとんど生活の基盤が入らないような新法ができちゃつて。私にすれば何か変なペースで動いてるんじゃないかと。アイヌは文化だけでは生きていかれないから、北海道に住んでるアイヌたちがどうなつていくのかなつて心配というか、私自身はそこ中でどうできるのかつて。ウタリ協会には、アイヌの過去、現在はあるけど、「未来に向けたアイヌ像」が見えてこないの、どういふものにしていくのか心配だ。それを全体で話す場をつくつてもらえない、なんかその辺が……。どうなつていくのかを見守るしかないなあ。私としては「ヤイユーカーの森」の中で、できる範囲のことはしようと思つています。

私の意見

アイヌ文化振興法とアイヌの将来……

事へ知里幸恵・バチエラー八重子の希い)

⑥教育権の欠落へアイヌの歴史・地理・言語

※生活空間・イオルを首都圏に!

①②③④⑤は奪還されなければならぬ。そして※印は要求し実現されなければならぬ。

×× ××さんは「関東ウタリ会」をやつてらして、「新法」の問題では関東在住のアイヌとして、この状況をどういふふうに見てらっしゃいますか?

×× 「この法律は過去に對する賠償・補償として作るものではない」といつたつて、生きることをすべてが文化なんだよね。

うちの息子だつて「アイヌ日本から出てけ」つて、半年間にわたつてそんなことを言われながら育つていつたわけだから。そういう意味でなんつて言うのかなあ。こういう話が出るということ自体がペウレ・ウタリの転換期にきてるといふことなんだろうと思うんだけどね。やつぱり子どもを育てるために関東ウタリ会が私には必要だった。息子が半年間、中二から中三にかけて「アイヌ日本から出てけ」つて言われたときに、息

子を支えたのは何かつていつたら、親たちがやつてる、着物を作るとか歌や踊りをやるとか、そういうことが彼の支えになつたつていうのね。「小さい子どもの手を引つ張つて日曜日ごとに出歩いて」なんて周りのシャモの奥さんたちから言われたけど、「でもやつぱり私はやつてよかつたな」といふふうに思いますね。

これからのペウレ・ウタリは…… アイヌが居心地悪いペウレ・ウタリは終わりにして、もしやりたいんだつたら別な形で出発したほうが青春の思い出は美しく残るんじゃないかな(笑)つていふふうに思うのね。

会報を作る作業も大変でしょうけど、やつぱり中心になるのは会報かなと思うんですよ。アイヌとシャモという難しい問題もあるようですけど、僕自身はできれば、いろいろ葛藤があるでしょうけど、続けていつてほしいなつて思っています。

鳥と猫に片想いのおばさんからペウレへ ×××× 差別や偏見という言葉では表現するけれども、アイヌ個

人個人にとつて言い表せられない体験を持ちつつ、それでも必死で生きていた時代だった。そういう背景を持たされていたアイヌの状況を、若い学生たちに、何とかしなければという思いに駆り立たせるだけの気運が芽生え始めていたのが、六〇年代ではなかつただろうか。会発当初の阿寒湖を中心とする若いアイヌも表面的には親睦を図るといふ思いが強かつたけれど、現状をなんとかしたいという密かな決意をも抱きつつこの会の誕生に関わつたのだからと

思います。その後、より広範囲に若いアイヌを募り、それに応じて集まつたアイヌは結構多かつたわけで、その流れの中に私も入つたのかなと思います。

何はともあれ、ペウレ・ウタリの会は紆余曲折はあつたけれど現在まで、持続されている会で、アイヌとシャモの一番古く長い交流の会であることに変わりはないと思う。今でこそ、共生とか、共存とか叫ばれるほんわかとした世の中だけれど、このことにかけては間違いなくペウレは先輩も先輩、もうペウレではないといえます。私は現在ペウレからは退会しているのですが、ペウレの今後については、何

もいう資格はないと思つています。厳しい意見をいう人は

それだけ強くペウレへの思いがある、ありがたい存在と解

る。 会報はガリ版刷りで、何人もの人が一生懸命にかかわつた、ということがわかる。アイヌの会員の自己紹介欄などに、私は目を見張つた。まだアイヌを声高に主張できなかったところ、アイヌと自ら言い、そう書いています。そして、会報には「アイヌ語を勉強しよう」という主張がみられ、今から考えるとそれは画期的なことだつた。シャモの会員とアイヌが対等な立場で活動している。アイヌの埋もれた歴史も掘り起こそうとしていた。これこそ私が望んでいた活動だつた。うらやましいと思つた。

しかし、そのころ私は「アイヌ」から逃げていた。ペウレ・ウタリの活動に積極的に加わろうとの思いはすでになかつた。アイヌという言葉も嫌だし、アイヌ模様やアイヌに関するすべてのものが嫌だつた。私は結婚によつ

て、なれもしないのに和人になろうとしていたのかもしれない。それなのにペウレ・ウタリの会報にはアイヌ語も出てくるし、表紙はアイヌ模様だ。本当のペウレ・ウタリが発言していた。

私には苦い経験があつた。北海道から上京して、全国から集まつてお国自慢をする学生生活で私のアイデンティティーはどこにあるのか、悩む毎日だつた。自分は本当の日本人なのか、アイヌとしていて悩んでいることはなんなのか。考えているうち、こんなことを話し合える場がほしいと切実に思い、そういう人を募つてグループをつくつた。アイヌが珍しいのかたくさん人が集まつた。しかし、その場所は私が欲していたものとは違つた。アイヌウタリの参加者は一人もいなかった。会を支えるには余りにも経験不足だつたし、学習不足だつた。それは無謀な行為ときえいえいた。会報三号を出し、その会が北海道に戻つて働いている間に自然消滅した。何人か熱心にかかわる会員もいたのに、私自身がアイヌを嫌になり、続ける意欲をなくした結果だつた。

中断があつたにしても、ペウレ・ウタリは持続している。このエネルギーは誰が何と言つてもすごい。ペウレ・

ウタリの存在に触発されて、その後さまさまなアイヌの団体ができたといつても過言ではない。いま、この会の存在、存続にはいろいろな意見もあると聞くが、建設的な意見には耳を傾け「独善的」にならず、アイヌが忘れかけている「謙虚さ」をも失わず、

中学校へ入り、僕は自分の学用品、ある程度の着る物などを買わねばならなかつたのです。ですから、天気の良い日は畑のアルバイトに行くのです。一日わずか一五〇円のアルバイトをしに……それを何日も行き、お金をためるのです。だから雨の降る日しか学校にいけないことが多くなるのでした。学校へ行くと先生が「おッ、今日は熊が山から下りて来たな! 雨が降つたからシイタケが出て来たのだな」つて、行くたびに言われました。授業に出ても、休んでいたのどこまで勉強が進んでいるのかわかりません。そうすると同級生達に、「この字が読めるか、この字が書けるか」と言われます。自分にはわからないから、だまつていまして「ヤーイ、ヤーイ、わからないべ、アイヌ、アイヌ!」とよく言われました。こんな時の僕の悲しみは誰一人にもわかつてもらえないと思つています。先生

先生

に言われ、同級生達にまで言われるのです。僕には誰も頼りにする人がいなかったの
で、一人で苦しみました。家に帰って行ってもおこられるばかりです。「なぜお前は弱いんだ！ そんなことを言う奴はひっぱたいてしまえ！」と言われたものでした。そんなことが出来るわけはありませんでした。相手は何人もい
る、僕は一人なのです。

ペウレ・ウタリに◎5号
(一九六五年一〇月)

ペウレ・ウタリの会に入会して三ヶ月たちました。

ふみにじられ ふみひしがれし ウタリの名
誰しかこれを 取り返すべ

パチエラー八重子のこの歌の意味をもっと考えるべきではないでしょうか。ふみにじられているウタリの名を取りかえずは私達ペウレ・ウタリなのです。

ペウレ・ウタリの会が開いたシンポジウムについて会報26号(一九九一年七月)

報告 ××××

もちろん、北海道や北方領土はもちろんのこと、千島、

樺太、南サハリンに至るまで、アイヌの領土であると主張する歴史的な根拠は疑う余地がない。とはいえ、アイヌ文化の学習・交流の会ということで、ペウレに参加している会員にとつては、ちよつと違和感はないのだろうか、という心配があった。

それでも、北方領土問題の勉強会を開くことには誰も異論はなかった。アイヌの北の領置は、ロシア・ソ連と日本の政治取引の道具にされてきた。こうした取引において、アイヌの存在はあまりにも無視されてきた。そして、とりわけ第二次世界大戦後は、アメリカに追随しようという日本政府が、千島を放棄した。

しかも、日本政府は、北方領土はソ連が勝手に占領しているもので、放棄などしていかないという主張してきた。日本国民の多くは、サンフランシスコ条約を認めただけでも、ソ連の占領が不当であるという政府の考えを鵜呑みにしてしまった。

昨年一二月、著名な言語学者である村山七郎先生を招いて、学習会を開いて、日ソ(日露)外交交渉史における北方領土問題について学んだ。これによると、日本の北方領土の領有権の主張には根拠はなく、国際的に認められ

ないということだった。すると、返還の根拠も希薄な領土交渉を、日本政府は反ソ感情をおおるために利用してきただけなのだ。そこで、ゴルバチョフ来日に向けた、シンポジウムの意義は、点と線で結び付いた。

あとがき

本書は、「ペウレ・ウタリの会」という市民団体の三〇余年にわたる活動記録集、となるべきはずのものでした。が、編集作業を終えて、果たしてそのような内容のものになつていくかどうか、はなはだ心許ありません。なぜなら、会の性格そのものが、時代とともに揺れ動き、現在も迷走をつづけているからです。

会発当初、阿寒湖畔でめばえたアイヌと和人の若者たちの熱気と友情は、それからの精力的な活動の原動力となつてあり余るものでした。「社会に根強く残る無知と偏見を取り除くこと」という、大きな目標に取り組み、多くの会員に勇気と希望をもたらしました。しかし、時がたつにつれ、アイヌと和人の会員の意識のズレ、乖離といったものが表面化し、ついには挫折を経験することになります。六年間の空白を経て再結成を果たした後も、会は

新陳代謝を繰り返して、アイヌと和人の溝は埋まったり掘り返されたりで現在に至つていくかのようです。いつてみれば、「ペウレ・ウタリの会」の歴史とは、挑戦と挫折、試行錯誤の三〇年でもありません。

しかしながら、会報に収められている無名の若者たちの文章は、どれも真摯さと切実さに満ちており、おおげさな表現が許されるならば、その一つひとつが時代の証言といえると思います。とくにアイヌの会員によるものには、被差別体験、アイヌとして生きることの悩み、観光に対する思いといったものがつづられており、今もそれを読む者に深く重い問題を投げかけています。

今回、本書を企画するにあつて、ある会員から、「過去を振り返るのではなく、前向きに考えて」という意見が寄せられました。もちろん、私たちは、昔を懐かしむために本書の刊行を思いつたわけではありません。現在、アイヌ民族を取り巻く状況は、アイヌ語・アイヌ文化の復興運動、アイヌ民族初の国会議員誕生、「アイヌ文化振興法」制定およびそれにともなう「北海道旧土人保護法」廃止など、よきにつけ悪しきにつけ三〇年前とは劇的に変化

している反面、アイヌ民族に対する和人の無知無関心、差別問題など、まったく変わっていないことがあるのも残念ながら事実です。会報に連綿とつづられた会員の「声」は、そのことを如実に物語っています。それらの「声」を、東海のロッカーのなかに私蔵して放置しておくよりも、ひろく社会に出して人びとの前にさらすことは、ひとり当分のみならず、現代の多くのアイヌ、和人両者にとつて、なんらかの指針となるのではないかと考えています。

一九九八年三月

員会

残部僅少

『日本農業の復権』

羽山太郎著

頒価 1500円

発行：豊島文化社

ミニコミ・少数流通出版物のための書店

模索舎

『フリーペーパー版模索舎月報』では、月に1度、月毎に新しく入荷した出版物の一部の書誌データ、その他特集コラムや制作者自薦文を紹介しています。ご希望の方へは、年間1000円でお手元へ郵送いたします。

〒160 東京都新宿区新宿2-4-9 定休日なし
11:00~21:00 郵便振替 00180-7-21310 [模索舎]
Tel.03-3352-3557 FAX.050-3505-8561
http://www.mosakusha.com/ E-mail mosakusha@mosakusha.com

プロレタリア(無産社)共同政治新聞

『赤いプロレタリア』

新しい左翼の極の創出へ!

労働者政治新聞

編集：共産主義者協議会

年間購読料：1部 2500円(送料込)